

ワイヤレス防犯カメラセット

# ワイヤレス見張隊 ネオ **NEO** グラントスラム

ワイヤレス見張隊<sup>ネオ</sup> **NEO** <sup>ネオ</sup>グラントスラム

## 取扱説明書 詳細版



# 目次

1. はじめに.....	3
1-1. 安全上の注意.....	4
1-2. 構成品一覧.....	8
1-3. 外観および各部名称.....	9
1-4. 接続構成図.....	10
2. 設置方法.....	11
2-1. 設置する際の注意事項.....	11
2-2. バレット型カメラの設置.....	12
2-3. カメラケーブルの防水方法.....	13
2-4. P T Z型カメラの設置.....	14
2-5. 録画装置の接続.....	15
3. 基本操作.....	16
3-1. 録画装置の初期設定（ウィザード）.....	16
3-2. ログイン操作.....	18
3-3. 画面左下側の△マークについて.....	19
3-4. スケジュール録画（時間録画、モーション録画）.....	20
3-5. 再生方法.....	22
3-6. 録画映像をバックアップする.....	23
3-7. 人体検知機能.....	24
3-8. 録画装置の電源を切る.....	26
4. メニューの説明.....	27
4-1. メニュー画面.....	27
4-2. 画面内のアイコンの説明.....	27
4-3. 映像の色彩を調整する.....	28
4-4. P T Z操作.....	28
4-5. 表示画面数の変更.....	29
4-6. カメラ映像位置の入れ替え（チャンネル番号の変更）.....	29
5. システム設定.....	30
5-1. 一般設定.....	30
5-2. 録画設定.....	32
5-3. ネットワーク設定.....	33
5-4. チャンネル設定.....	36
5-5. システム管理者.....	40
6. パソコンで映像を確認する.....	44
6-1. ネットワークの接続.....	44
6-2. Network video clientの起動方法.....	45
6-3. Network video clientの画面.....	47
6-4. Internet Explorerモードの設定.....	50
7. その他の操作.....	54
7-1. カメラの登録を削除する.....	54
7-2. 録画装置にカメラを登録する.....	55
7-3. カメラ映像を反転させる場合.....	56
7-4. カメラをリピーター接続する場合.....	57
7-5. カメラを有線LAN接続で使用する場合.....	58
8. トラブルシューティング.....	61
9. 仕様.....	62

## 1. はじめに

このたびは、『ワイヤレス見張隊NEO グランドスラム』をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

この取扱説明書（以下、本書）は、ワイヤレス見張隊NEO グランドスラム（以下、本装置）の設置方法、操作方法、および構成などを説明いたします。

### 本装置の特長

- ・人体検知AIを搭載。車や動物を検知せず人間だけを識別して録画や通知することができます。
- ・ワイヤレス接続のため、カメラケーブルを引き回す作業が無く、設置が簡単です。
- ・フルハイビジョンの映像を、H.265形式（高圧縮）で録画できます。
- ・カメラが暗さを感じし、自動でデイ/ナイト切り替えして鮮明に録画します。
- ・記録媒体一体型のモニター型レコーダーだから、コンパクトに設置できます。
- ・カメラ4台使用時、約20日間分録画できます。
- ・PTZカメラに対応。録画装置からカメラの角度やズームを調整できます。
- ・USBメモリに、録画データをバックアップすることができます。
- ・ネットワーク接続をすることにより、パソコンから録画装置の映像を確認できます。

本書では、呼称を以下の通り定義いたします。

呼 称	意 味
カメラ	本装置に付属のワイヤレスカメラ全般を指します。
バレット型カメラ	筒型のワイヤレスカメラを指します。
PTZ型カメラ	PTZ操作が可能なワイヤレスカメラを指します。
PTZ	パン・チルト・ズームを意味します。 パンとは、カメラのレンズの向きを左右に動かすことです。 チルトは、カメラのレンズの向きを上下に動かすことです。 ズームは、望遠にしたり広角にしたりすることです。
録画装置	ネットワークカメラ専用のモニター付レコーダーを指します。
HDD	本装置内に装着されているハードディスクドライブを指します。 カメラ映像を保存する記録媒体です。
ライブ映像	カメラから入力され、モニターに映し出されている映像を指します。 (録画された映像ではありません。)
録画	映像を記録媒体(HDD)に記録することを指します。
録画映像	記録媒体(HDD)に録画されている映像を指します。
ビデオロス	映像信号が途切れたことを意味します。
モーション(動体)検知	映像に変化があった時(例:人が歩いている)に、それをトリガーとして、録画やアラームを鳴らすことができる機能を指します。
人体検知	撮影映像から、人間を検知する機能です。

- ・本装置のご使用にあたって必要とされる一般的なパソコンの操作につきましては、本書では記載しておりません。あらかじめご注意ください。
- ・本書の図や画面は、説明を目的とするため、実際の表示と多少異なる場合があります。ご了承ください。
- ・本装置のファームウェアのバージョンの違いにより、本書で説明する画面と若干異なる場合があります。ご了承ください。

## 1-1. 安全上の注意



本装置を操作する前に本書をよくお読みください。本装置は精密機器であり慎重な取り扱いが必要です。カメラを設置する際、設置する地域の条例やガイドラインに従って設置してください。設置箇所により、許可・届出等が必要な場合があります。

### ●安全に正しくお使いいただくために

本書および本装置の表示では、製品を安全にお使いいただき、ご使用になる方や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の用になっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。




### ■表示の説明

誤った取り扱いをしたときに生じる危害、障害の程度を区分し説明します。






	<b>警告</b>	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「損傷を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。
	<b>お願い</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できない、または、機能停止をまねく内容を示しています。








### ■図記号の説明

お守りいただく内容の種類を絵記号で区分し説明しています。

	○記号は、してはいけないこと「禁止」を示します。
	●記号は、しなければならないこと「指示」を示します。
	△記号は、注意を促す内容を示します

### ■設置場所について





	<b>警告</b>
	●不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁への設置禁止 カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。
	●壁面内の配線や配管（ガス管・水道管等）に注意 ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。
	●湿度の高い場所への設置禁止 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●本装置は日本国内で使用する 本装置は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因になります。 また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。

 <b>注意</b>	
	●モルタル塗装部への設置 穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。
	●火気のそばへの設置禁止 本装置や電源ケーブルを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。 カバーや電源ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
	●直射日光、高温の場所への設置禁止 直射日光の当たるところや、高温のところに置かないでください。 内部の温度が上がり、火災・故障の原因になることがあります。
	●油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止 調理台のそば等油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電となることがあります。
	●不安定な場所への設置禁止 ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。
	●重電機器・電磁波を発生する機器の近くへの設置禁止 業務用洗濯機、工作機械、電動機などの重電機器、医療機器、電磁波の発生する機器の近くに設置しないでください。また、上記と同じ電源元から電源を供給しないでください。ノイズの影響を受けて異常が発生するおそれがあります。







<b>お願い</b>	<p>●本装置を正常にまた安全に使用していただくために、次のようなところへの設置は避けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほこりが多い場所</li> <li>・極度に振動が激しい場所</li> <li>・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所</li> <li>・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所</li> <li>・極度に高温や低温になる場所</li> </ul> <p>●家電機器 (AV 機器/調理機器/空調機器など) から離して設置してください。 特にテレビ等のリモコンを本装置に近くで操作すると、誤動作するおそれがあります。</p> <p>●電波の到達距離について 録画装置からカメラの間に障害物がない場合は、見通し距離約 50m 以内で使用できますが、次のような場合は、電波が届きにくくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合</li> <li>・カメラと録画装置が別の階層や別の建物にある場合</li> <li>・カメラと録画装置の間に次のような障害物がある場合 (外壁、金属製の扉や雨戸、トタンなどの金属製の外壁材、網入りガラス、金属箔が含まれる断熱材、金属製の家具等)</li> </ul> <p>●カメラは電波干渉による影響を防止するため、次の機器から離して使用してください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子レンジ・無線 LAN 機器・ワイヤレス AV 機器・インバーター電気機器・他社製のワイヤレス型防犯カメラ</li> </ul> <p>その他、下記の機器でも近くで使用すると本機やその機器の動作に影響がでる場合があります。離して使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム機のワイヤレスコントローラー・デジタルコードレス電話機・火災報知機・アマチュア無線局</li> <li>・自動ドア・マイクロ波治療器・Bluetooth®対応機器・ワイヤレスインターホンやワイヤレスドアホン</li> </ul>
------------	---




## ■使用について

### (1) こんなときは




 <b>警告</b>	
	●発煙への対処 万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
	●水が装置内部に入った場合の対処 万一、内部に水が入った場合は、すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いて、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	●電源アダプタ、電源コードが傷んだ場合の対処 電源アダプタ、電源コードが傷んだ状態 (芯線の露出・断線等) のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いてご購入店か弊社に修理をご依頼ください。

## (2) 電源について





 <b>警告</b>	
	●家庭用電源以外の禁止 AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●電源アダプタ・電源コード 専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	●電源アダプタ・電源コードの取扱注意 電源アダプタ・電源コードを傷つけたり、分解したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると損傷し、火災・感電の原因となります。
	●ぬれた手で操作禁止 ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	●たこ足配線の禁止 分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

 <b>注意</b>	
	●電源コードの取扱注意 電源コードを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。コード部を引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	●乗ることの禁止 本装置に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかたりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。

## (3) 禁止事項について

 <b>警告</b>	
	●改造の禁止 本装置を分解・改造しないでください。 火災・感電の原因となります。
	●ぬらすことの禁止 本装置に水が入ったり、ぬらさぬようご注意ください。 火災・感電の原因となります。

## (4) その他のご注意

 <b>注意</b>	
	●雷のときの注意 雷が激しいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。万一落雷があった場合、火災・感電の原因となることがあります。雷が発生した際は、感電のおそれがあるので、電源アダプタ、電源コードおよびLAN ケーブルに触れないようにしてください。
	●電源ケーブルの清掃 コンセントとソケットの間のほこりは定期的に（半年に1回程度）に取り除いてください。放置しておくと、火災・感電の原因となることがあります。
	●長期間ご使用にならないときの注意 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

## ●著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者及び著作権者の権利が保護されています。このした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的のみで行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」、「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本装置を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守の上、適切にご使用をこころがけていただきますようお願いいたします。

## ●プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、お客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。  
※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

## ●セキュリティーについて

本装置をネットワークに接続する場合、パスワードを設定することを強く推奨します。パスワードを設定・変更した際、設定したパスワードは忘れないようにメモをしてください。パスワードを設定しないと、映像が外部に流出するおそれがあります。

## ●内蔵のハードディスクを交換した場合

お客様がハードディスクの交換を行った時点から、納品日からの1年間の無償保証対象外となりますので予めご了承ください。

## ●ハードディスクの交換時期について

ハードディスクを連続して使用すると、ヘッドやモーターの摩耗および劣化が発生します。性能を維持させるために、(周囲温度 25℃使用時) 2～3年程度を目安に交換をお勧めします。通電時間が2～3年を超えると、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。  
※交換は目安であり、性能を保証するものではありません。

## ●人体検知機能について

本製品は、撮影した映像を人体検出 AI 機能にて、人間を検知して録画する機能を有しています。しかし、撮影環境や被写体の服装等により誤検知または検知できない可能性がありますのでご了承ください。

## ●免責事項について

- ・本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された商品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではありません。万一被害など発生致しましても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・地震・雷・風水害などの天災および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・「取扱説明書」（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、一切責任を負いません。
- ・本書に記載されている付属品以外の機器の接続やソフトウェアの使用により、誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・事故や本装置の故障・修理・その他取り扱いによって、本装置に登録された設定データなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

## ●商標について

- ・Ethernet は、米国 Xerox Corp. の登録商標です。
- ・Microsoft、Windows、Windows Media Player、Microsoft Edge、Internet Explorer またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・本書に記載されているその他の製品名、会社名は、各社の登録商標、または商標です。

## ●ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

## 1-2. 構成品一覧

ご使用いただく前に、次の構成品が全部そろっているか確認してください。

万一、不足や損傷している場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

### ■録画装置

 録画装置 × 1	 録画装置用スタンド × 1	 録画装置用電源アダプタ × 1
 マウス × 1	 LAN ケーブル × 1	 取扱説明書 × 1

### ■バレット型カメラ

- ・カメラ 4 台モデル(L-WMN-GS)の場合、バレット型カメラは 3 台入っています。
- ・カメラ 2 台モデル(L-WMN-GS2C)の場合、バレット型カメラは 2 台入っています。

 バレット型カメラ (アンテナ含む)	 バレット型カメラ用 取付け部材	 バレット型カメラ用 電源アダプタ
---	---	--

### ■PTZ型カメラ

- ・カメラ 4 台モデル(L-WMN-GS)の場合、PTZ 型カメラが 1 台入っています。
- ・カメラ 2 台モデル(L-WMN-GS2C)の場合、PTZ 型カメラは入っていません。

 PTZ 型カメラ	 PTZ 型カメラ用 取付け部材	 PTZ 型カメラ用 電源アダプタ
---	---	--

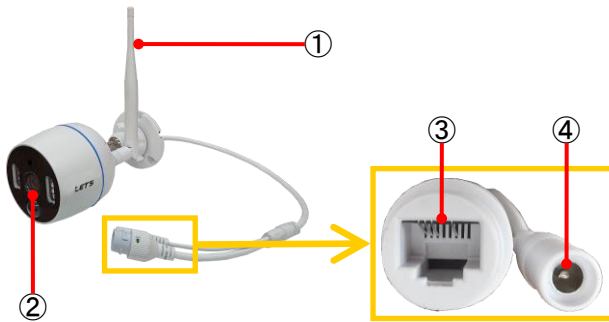
◆ネットワークに接続する場合、さらに以下の構成品も準備してください。

- ・スイッチングハブ
- ・Windows パソコン
- ・パソコンへの接続する LAN ケーブル
- ・インターネット接続環境など



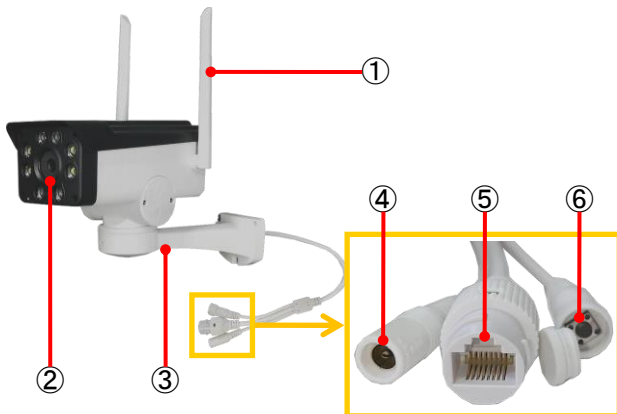
## 1-3. 外観および各部名称

### 1-3-1. バレット型カメラ



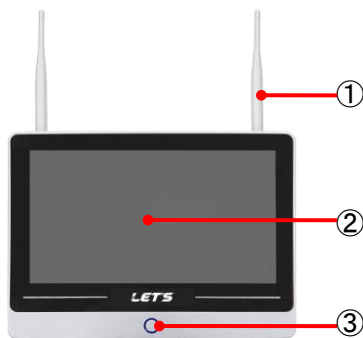
① アンテナ
映像データを録画装置へ伝送します。
② カメラレンズ
被写体を撮影します。
③ LAN 端子
録画装置にカメラを追加する場合、LAN ケーブルで録画装置と接続して設定します。
④ 電源端子
電源アダプタを接続します。

### 1-3-2. PTZ型カメラ



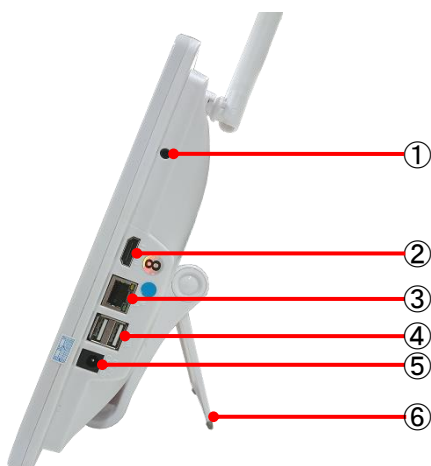
① アンテナ
映像データを録画装置へ伝送します。
② カメラレンズ
被写体を撮影します。
③ アーム部
壁や柱等に取り付けます。
④ 電源端子
電源アダプタを接続します。
⑤ LAN 端子
録画装置にカメラを追加する場合、LAN ケーブルで録画装置と接続して設定します。
⑥ リセットボタン
ボタンを押すと、再起動します。

### 1-3-3. 録画装置【表面】



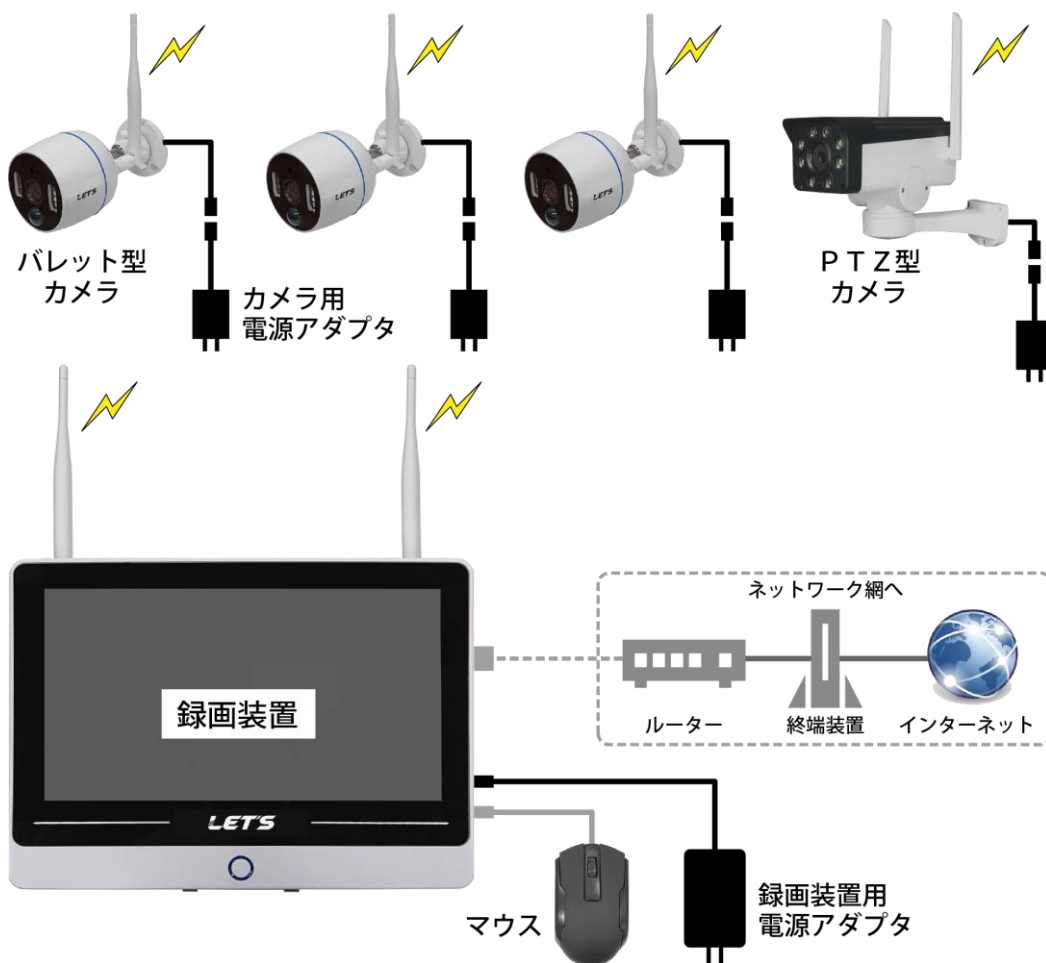
① アンテナ
カメラの映像データを受信します。
② モニター
映像を表示します。
③ モニター電源ボタン
モニター画面の表示を ON/OFF します。 (電源 ON/OFF ボタンではありません)

### 1-3-4. 録画装置【側面】



① 音声出力端子 (3.5mm)
音声を出力します
② HDMI 端子
モニターの映像を出力します。
③ LAN 端子
ネットワーク接続時、LAN ケーブルを接続します。
④ USB 端子
マウスを接続します。 バックアップ時に USB メモリを接続します。
⑤ 電源端子
電源アダプタを接続します。
⑥ スタンド
録画装置を立てます。

## 1-4. 接続構成図



### ● 録画装置の設置方法

設置する前に、次ページ記載の注意事項を確認してください。

	<p>録画装置の重量：約 1.7kg</p>
<p>スタンドを立てて設置する場合、水平な場所に設置してください。</p>	<p>吊り下げ穴に引っ掛けて設置する場合、スタンドを外してから、背面にある4箇所の吊り下げ穴に引っ掛けて設置できます。 【吊り下げ用のネジ(M6相当)等はお客様にて準備してください】</p>

## 2. 設置方法








録画装置とカメラを設置する方法を説明します。

カメラは水の浸入に対する保護等級 IP65 相当(あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がない)の仕様を有しており、風雨にさらされても問題はありませぬ。長く大切にご使用いただくために、雨や日差しが直接当たらない場所(軒下など)への設置をお勧めします。





### 2-1. 設置する際の注意事項

下記の注意事項をよくお読みください。

#### 警告

-  不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けないでください。カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。
-  壁面内の配線や配管(ガス管・水道管等)を傷つけないように取り付けてください。ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。
-  AC100V 商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
-  専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  本装置は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因となります。  
また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。
-  万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店が弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
-  録画装置・カメラを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

#### 注意

-  壁の穴開け工事については、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
-  モルタル塗装の場合、穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。
-  録画装置を不安定な場所に置かないでください。また、録画装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けが・故障の原因となります。
-  録画装置・カメラを次のようなところへの設置は避けてください。
  - ・火気のそば
  - ・油飛びや湯気が当たるような場所
  - ・不安定な場所
  - ・ほこりが多い場所
  - ・極度に振動が激しい場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
  - ・極度に高温や低温になる場所
  - ・直射日光が当たるところ
  - ・重電機器、医療機器、電磁波の発生する機器の近く

正しく設置するために

- ・カメラを正しく設置するために、ネジの取り付け位置をあらかじめご確認ください。
- ・録画装置からカメラの間に障害物がない場合は、見通し距離約 50m 以内で使用できますが、次のような場所では、電波が届きにくくなります。
  - ・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
  - ・カメラと録画装置が別の階層や別の建物にある場合
  - ・カメラと録画装置の間に次のような障害物がある場合  
(外壁、金属製の扉や雨戸、トタンなどの金属製の外壁材、網入りガラス、金属箔が含まれる断熱材、金属製の家具等)

カメラは電波干渉による影響を防止するため、次のように機器から離して使用してください。

- ・電子レンジ ・無線 LAN 機器 ・ワイヤレス AV 機器 ・インバーター電気機器
- ・他社製のワイヤレス型防犯カメラ
- その他、下記の機器でも近くで使用すると、本機やその機器の動作に影響がでる場合があります。離して使用してください。
- ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー ・デジタルコードレス電話機 ・火災報知機 ・アマチュア無線局
- ・自動ドア ・マイクロ波治療器 ・Bluetooth®対応機器 ・ワイヤレスインターホンやワイヤレスドアホン

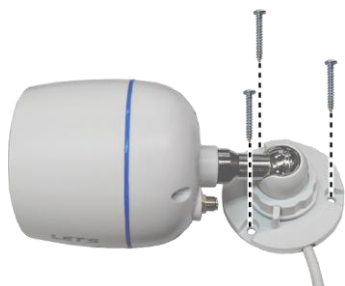
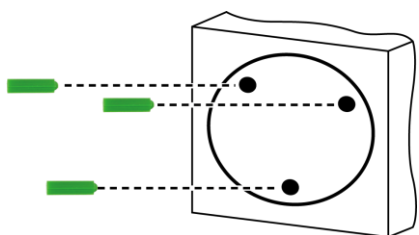
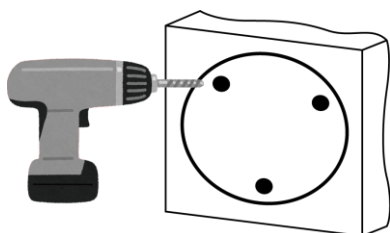
## 2-2. バレット型カメラの設置

バレット型カメラを、壁に取り付ける場合を例に説明します。

録画装置の映像を確認しながら設置してください。

ご注意：設置場所によってはアンテナに干渉する箇所が有り、取り付けできない向きがあります。  
ご了承ください。その場合、防犯カメラ用の取付金具等を用意してから設置してください。  
設置環境により、以下の手順通りでなく調整し易い手順で、設置・調整を行ってください。

バレット型カメラ  
の重量：約 300g



1. カメラのネジ穴位置を確認してから、壁に取り付ける場所を決めます。

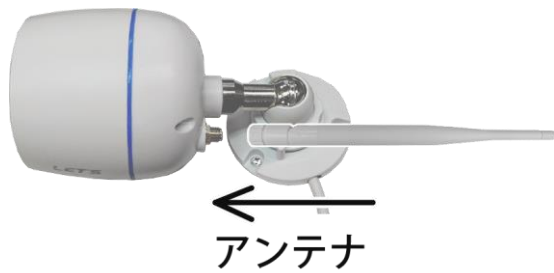
2. 壁に穴を開けます。  
φ6~6.5mm のドリルビットを使用し、深さ 30mm のガイド穴を開けます。

3. ガイド穴に、アンカープラグを押し込んで入れます。

4. ガイドの溝から、カメラケーブルを出します。

5. ロックナットを反時計回りに回して緩めることで、カメラの取付け向きを調整できます。

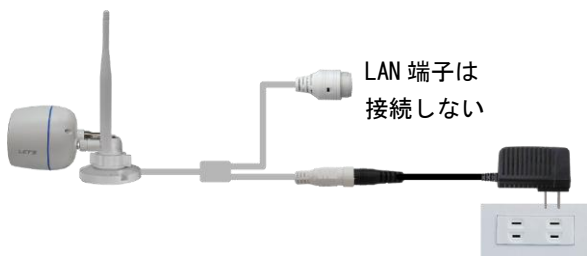
6. ベースのガイド穴を通し、ドライバーでネジを締めて取付け面に密着させます。



- アンテナを取り付けます。  
必要に応じて、アンテナの角度を変えます。



- ロックナットを、時計回りに回して締めます。



- カメラの電源端子に、カメラ用電源アダプタ (DC12V/1A) を接続します。  
LAN 端子は、接続しません。

### 2-3. カメラケーブルの防水方法

ケーブルの端子を水滴から防ぐため、防水処理する方法を説明します。

防水プルボックス等に収納する場合は不要です。



- カメラと電源アダプタの接続部は、市販の自己融着テープ等を巻いて防水します。



- カメラ側の LAN 端子は、通常は使用しないため、端子部が濡れないように市販の自己融着テープ等を巻いて防水します。  
(カメラを録画装置に追加する必要がある場合、LAN 端子を使用します。)

## 2-4. PTZ型カメラの設置

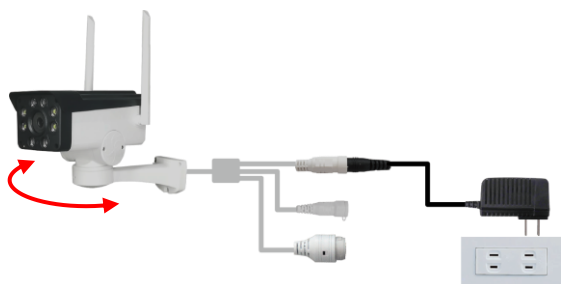
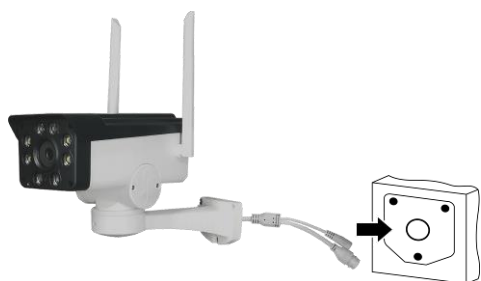
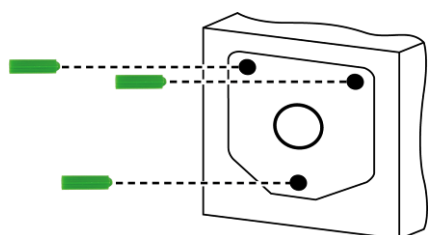
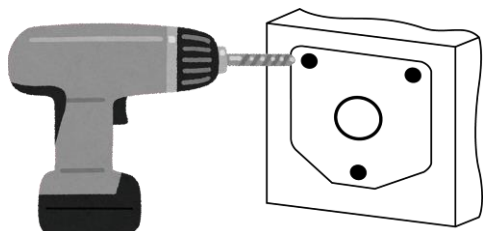
PTZ型カメラを、壁に取り付ける場合を例に説明します。

録画装置の映像を確認しながら設置してください。

**ご注意：PTZ型カメラは動作します。事前に周りの物体と干渉しないか確認してください。**

**設置環境により以下の手順通りでなく、設置し易い手順で設置・調整を行ってください。**

PTZ型カメラ  
の重量：約740g



1. カメラのネジ穴位置を確認してから、壁に取り付ける場所を決めます。

2. 壁に穴を開けます。

φ6~6.5mmのドリルビットを使用し、深さ30mmのガイド穴を開けます。

また、必要に応じてカメラケーブルを通す穴を開けておきます。

3. ガイド穴に、アンカープラグを押し込んで入れます。

4. 必要に応じて、カメラケーブルを壁の穴等に通します。

または、ガイドの溝から、カメラケーブルを出します。

5. ドライバーでネジを締めて壁に密着させます。

6. 電源端子に、カメラ用電源アダプタ(DC12V/1A)を接続すると、カメラが動作します。

7. カメラケーブルを屋外に配線する場合、端子部を防水処理します。

(「2-3. カメラケーブルの防水方法」を参照)

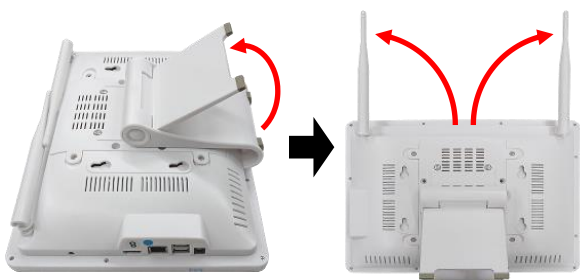
## 2-5. 録画装置の接続

カメラと録画装置を接続します。またネットワークに接続することも可能です。

ネットワーク接続時の機器等は、お客様側でご用意ください。



1. スタンド設置の場合、スタンドを接続します。  
(スタンドを取り付けてから、ネジ止めします。)



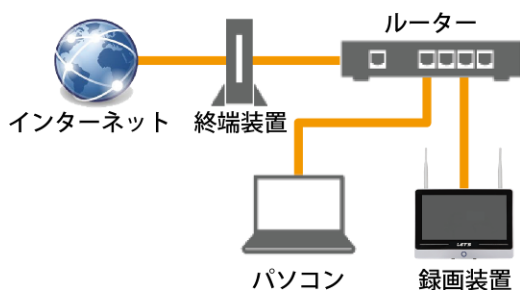
2. 録画装置のスタンドを立て、アンテナを立てます。



3. USB 端子にマウスを接続します。



4. 【ネットワークに接続する場合】  
LAN 端子に LAN ケーブルを接続します。



5. 【ネットワークに接続する場合】  
ネットワーク環境に接続します。



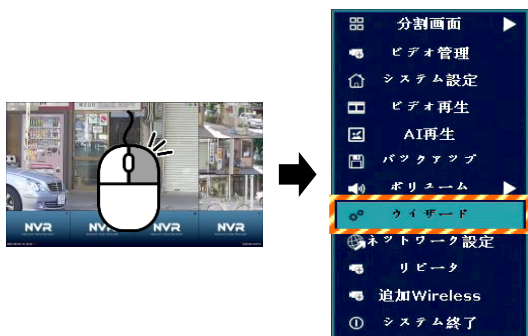
6. 録画装置の電源アダプタ (DC12V/3A) を接続します。録画装置の電源が入ります。

### 3. 基本操作

初期設定、録画と再生する方法を説明します。

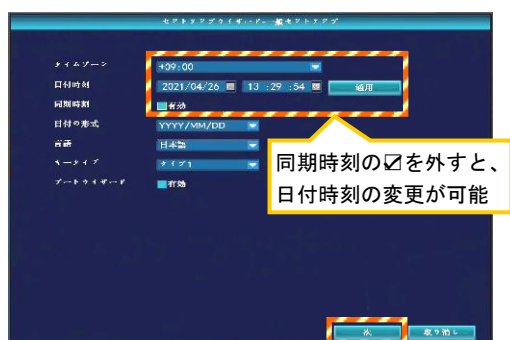
#### 3-1. 録画装置の初期設定（ウィザード）

はじめて録画装置の起動したとき、初期設定を行います。

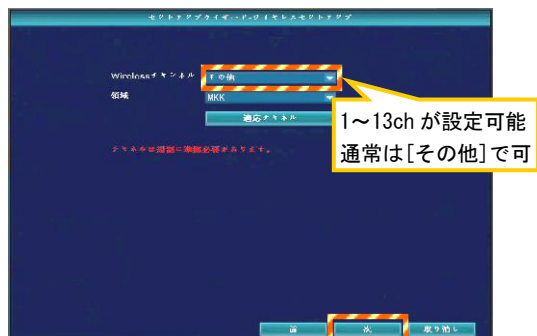


1. ライブ映像画面で、マウスを右クリックします。  
メニューが表示されます。

2. [ウィザード]をクリックします。  
ウィザード画面が表示されます。

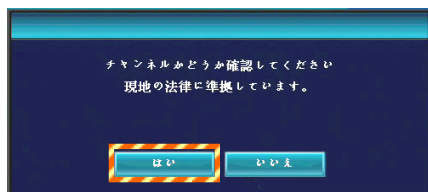


3. タイムゾーンを「+09:00」に合わせ、  
同期時刻の☑を外してから  
日刻を合わせて、[適用]をクリックします。  
時刻を設定後、[次]をクリックします。

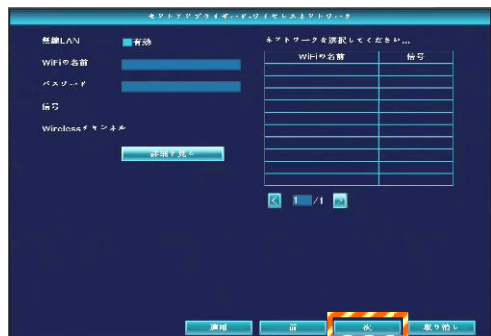


4. ワイヤレスセットアップ設定画面が表示されま  
す。チャンネルを選択し、[次]をクリックします。

この設定は、後で設定することができます。  
詳細は「5-3-4. Wireless 設定」を参照。



5. 確認画面が表示されます。  
[はい]をクリックします。  
ネットワーク設定画面が表示されます。



6. ワイヤレスネットワーク設定画面が表示されま  
す。設定せずに[次]をクリックします。

この設定は、後で設定することができます。  
詳細は「5-3-6. 無線ネットワーク」を参照。





7. 【ネットワークに接続する場合】  
[手動構成]をクリックします。

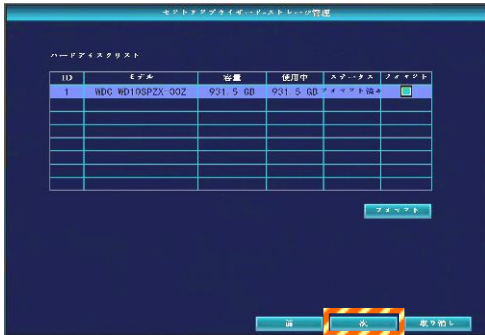
【ネットワークに接続しない場合】  
[次]をクリックします。(手順 10 へ)



8. 【ネットワークに接続する場合】  
IPアドレス、ゲートウェイ、サブネット等を設定し、[OK]をクリックします。



9. 【ネットワークに接続する場合】  
設定が正しくできているか、ネットワークの状態を確認してから、[次]をクリックします。  
(設定は、後からでも変更可能です。)



10. 記録媒体(HDD)の情報が表示されていることを確認し、[次]をクリックします。



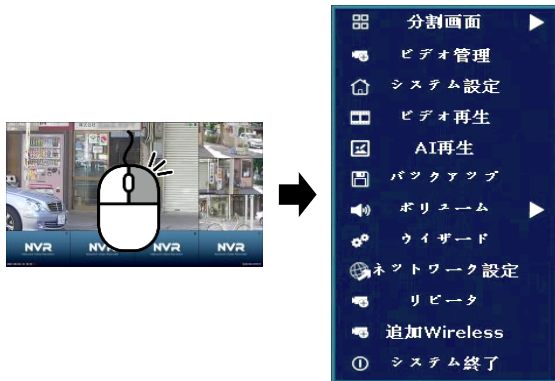
11. [完全]をクリックします。  
2次元コードは使用しません。



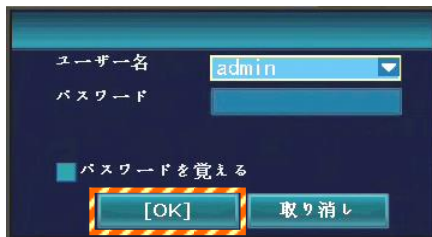
12. 初期設定を終え、ライブ映像が表示されます。  
画面右上側に、📶 (カメラの受信感度)アイコンと、🕒 (スケジュール録画) アイコンが表示されていると録画しています。

### 3-2. ログイン操作

録画装置のメニューを操作するときには、ログイン操作が必要です。



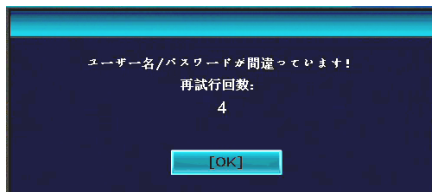
1. ライブ映像画面で、マウスを右クリックします。  
メニューが表示されます。
2. ログイン操作をしていない場合、メニューのいずれかの項目を選択すると、ログイン画面が表示されます。
3. ユーザーとパスワードを入力して、[OK]をクリックします。  
※初期状態のユーザー名は「admin」、パスワードは入力せずに[OK]をクリックします。



4. 入力欄をクリックすると、キーボードが表示され、キーボードから文字を入力します。



5. パスワードを間違えると、左図の様に表示されま  
す。  
[OK]をクリックして、正しいパスワードを入力し  
てください。



### 3-3. 画面左下側の△マークについて

画面左下側に、△アイコンが表示されると、イベントの発生、またはエラーがあることを示します。ネットワークに接続しない場合でも表示されます。

#### ● エラー表示を非表示にする設定【エラー表示の設定】

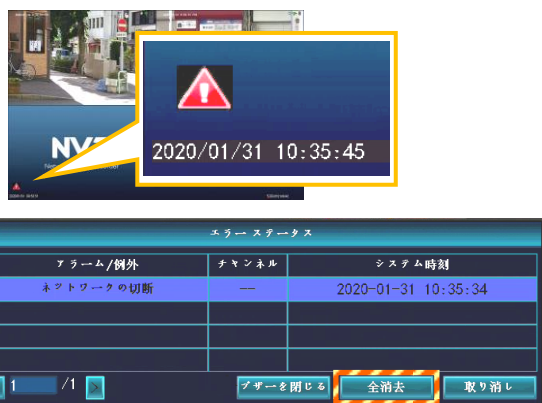


1. ライブ映像画面で右クリックしてメニューを表示させ、[システム設定]をクリックします。設定画面が表示されます。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)

2. [一般設定]タブをクリックし、[セットアップエラー]をクリックします。
3. 有効の☑を外し、[OK]をクリックします。

#### ● エラー内容の確認【△アイコンの削除方法】



1. △マークをクリックします。  
エラーステータス画面が表示されます。
2. エラーステータス画面には、エラー内容が表示されます。
3. エラーを確認後、[全消去]をクリックします。
4. 右クリックして画面を閉じます。  
△マークの表示が消えます。

### 3-4. スケジュール録画（時間録画、モーション録画）

録画したい時間帯を自動で録画する、スケジュール録画の設定方法を説明します。

【メモ】出荷時は、全時間帯が選択されたスケジュール録画が設定されています。



1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[システム設定]をクリックします。設定画面が表示されます。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)



2. [録画設定]タブをクリックし、[記録的録画]をクリックします。時間録画、モーション録画を設定する画面が表示されます。

3. チャンネルを選択①、録画モード②(時間またはモーション)をクリック後、録画する時間帯をマウス操作で選択③し、[適用]④をクリックします。

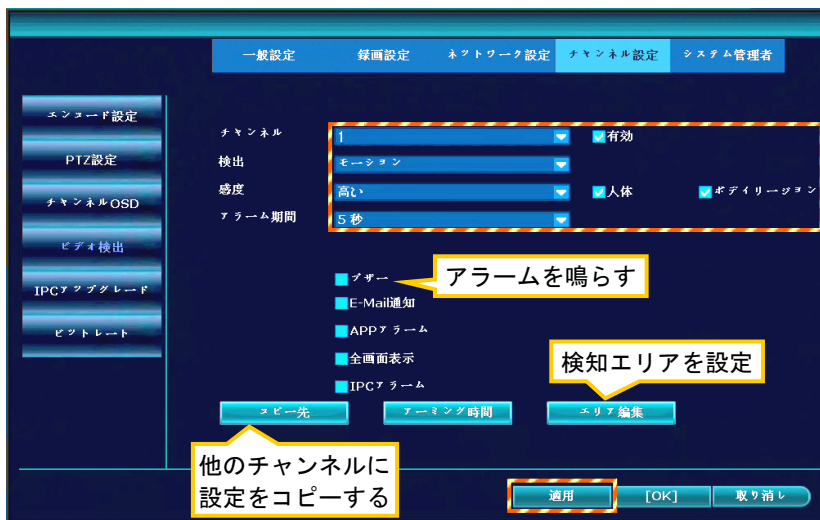
- ・時間(赤)：指定の時間帯を自動で録画します。
- ・モーション(緑)：指定の時間帯に画面に動きを検知した場合に自動で録画します。
- ・[すべて選択]：全時間帯に対し適用／・[リセット]：全時間帯の設定を削除



4. モーション録画を行う場合、[チャンネル設定]タブと[ビデオ検出]をクリックし、検出画面を表示させます。



5. 検知するチャンネル番号を選択後、[モーション]を選択し、有効に☑を入れます。  
次に感度、人体検知の有効/無効、検知エリア、アラーム期間、及び検知時の動作(ブザー等)を設定後、エリア編集(手順6参照)を指定してから、[適用]をクリックします。  
(詳細は「5-4-4. ビデオ検出」を参照)



6. [エリア編集]をクリックすると、モーション検知するエリア(画面)を選択します。

- ・青色エリア：検知する
- ・黒色エリア：検知しない
- ・[全てのファイル] 全エリアを検知する
- ・[全消去] 全エリアを検知しない
- ・[戻る] 編集画面を終了する

【メモ】一部のエリアを検知させる場合、一旦、[全消去]してから、必要なエリアをマウス操作で設定します。(左図参照)



7. スケジュール録画されている場合、画面右上側に🕒アイコンが表示されます。



8. モーション機能を有効にし、かつ検知した場合、画面右上側に👤アイコンが表示されます。

※モーション録画とは、映像データ(被写体)の変化を検知した時に録画する機能です。  
人または車両が動くと、映像データが変化するため、モーション検知したと判定します。  
この動作は、樹木の揺れ、光、影の変化でも検知する場合があります。この場合、感度を調整します。  
この機能を利用して録画すると、連続録画より保存容量を節約することが可能です。

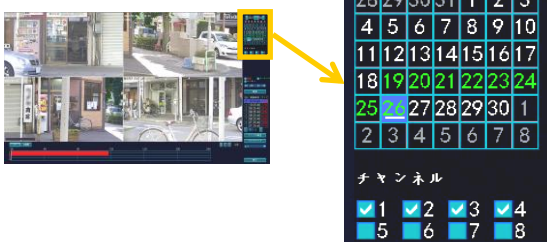
### 3-5. 再生方法

録画した映像を再生する方法を説明します。録画中でも再生することができます。



1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[ビデオ再生]をクリックします。  
ビデオ再生画面が表示されます。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)



2. 画面右側のカレンダーから、再生したい日付を選択します。緑色の日付が録画されている日です。
3. 再生するチャンネル番号に✓を入れます。



4. 録画したモード(時間、モーション)に✓を入れ、再生する時間帯を指定し、[検索]をクリックします。



5. 選択対象の録画ファイルが表示されます。  
再生するファイルをクリックし、[ファイル再生]をクリックすると、再生を開始します。

**【メモ】**ファイル選択後、[バックアップ]をクリックすると、バックアップ(次ページ参照)ができます。



6. または、録画した時間帯が、バー表示されます。  
下側のバーで開始時間をクリックし、[▶]をクリックして再生します。



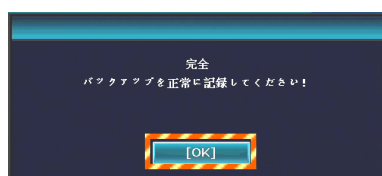
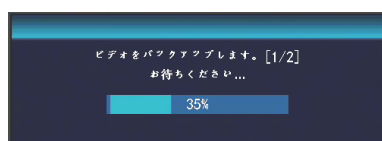
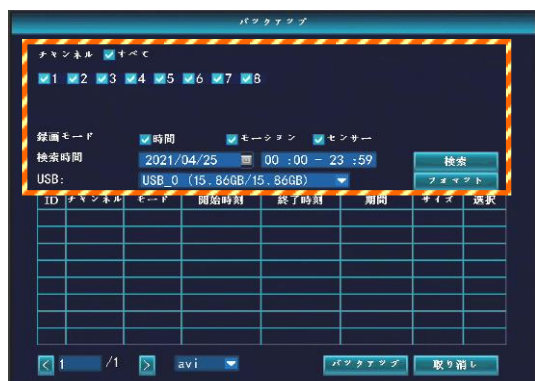
7. 再生[▶]、一時停止[||]、早送り[▶▶]等の操作を行うことができます。  
音声を確認する場合、対象の画面を選択します。
8. 再生操作を終える場合、右下側の[終了]をクリックします。

### 3-6. 録画映像をバックアップする

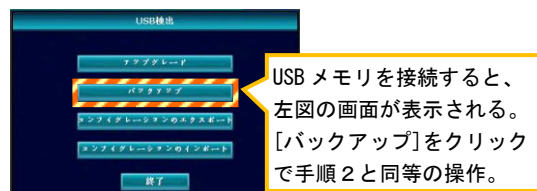
録画されている映像を、USB 記録媒体(USB メモリ)にバックアップ(コピー)します。

録画中でもバックアップすることができます。

**【メモ】** USB メモリは、あらかじめパソコンで FAT32 形式のフォーマットをしてください。バックアップしたファイル(AVI)は、H. 264/H. 265 コーデックに対応した動画再生ソフトで再生可能です。



1. USB 端子に、USB メモリを接続します。



2. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[バックアップ]をクリックします。バックアップ画面が表示されます。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)

3. バックアップするチャンネル、録画モード、日付時刻を選択し、[検索]をクリックします。下側に録画ファイルが表示されます。

**【メモ】** [フォーマット]をクリックすると、接続したUSBメモリをフォーマットします。

4. バックアップするファイルの右側に✓をつけて選択し、[バックアップ]をクリックします。

※バックアップ可能なデータは、最大32GBです。また、バックアップデータは、最大1時間で1ファイル生成されます。

5. バックアップが開始されます。しばらくお待ちください。

6. 「完全 バックアップを正常に記録してください!」と表示されたら、[OK]をクリックし、USB 記録媒体を抜き取ります。

### 3-7. 人体検知機能

人を検知した映像を録画し、人を検知されている映像のみを再生する方法を説明します。

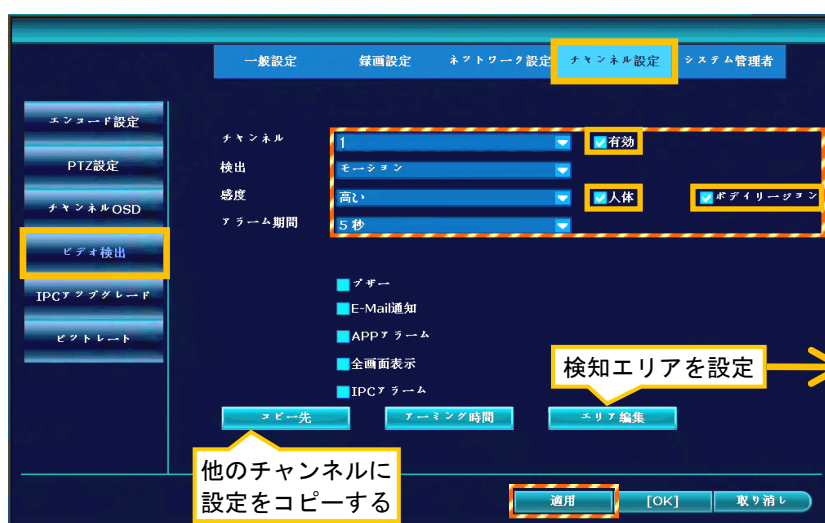
#### 3-7-1. 人体検知の設定方法

人体検知機能は、動体検知画面にて設定します。



1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[システム設定]をクリックします。設定画面が表示されます。

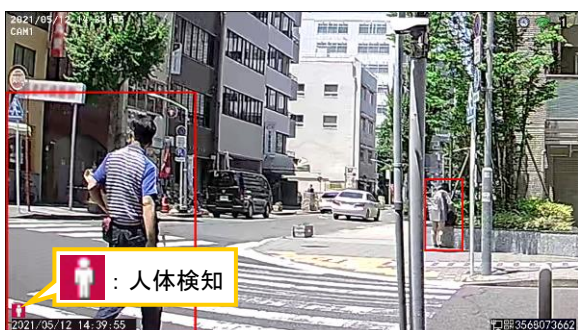
(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)




【検知エリア設定画面】  
青色エリア：検知する  
黒色エリア：検知しない



2. [チャンネル設定]タブと[ビデオ検出]をクリックし、検出画面を表示させます。
3. 人体検知するチャンネル番号を選択後、[モーション]を選択し、有効にを入れます。
4. 人体に (有効)を入れます。検知エリアを囲って表示場合、ボディリージョンにを入れます。
5. 感度、検知エリア、アラーム期間、及び検知エリアを指定してから、[適用]をクリックします。



6. 人体検知をしている場合、画面左下側に  アイコンが表示されます。また、赤色の枠は、手順4で「ボディリージョン」にを入れた場合に表示されます。

【メモ】夜間に人体検知した場合、カメラが白色点灯します。その間は、カラー映像になります。



7. 人体検知した場合のみを録画する場合、モーション録画のスケジュールを設定します。モーション録画スケジュールの設定方法は、「3-4. スケジュール録画」を参照してください。



### 3-7-2. 人体検知映像の再生方法

人を検知した箇所の映像を再生します。

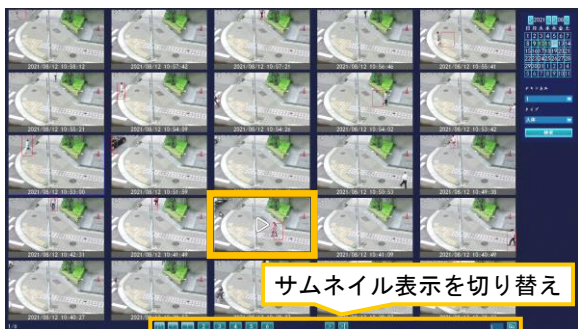


1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[AI 再生]をクリックします。  
再生画面が表示されます。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)



2. 画面右側のカレンダーから、再生したい日付を選択します。緑色の日付が録画されている日です。
3. チャンネル番号を選択、タイプは「人体」を選択後、[検索]をクリックします。  
人体検知による録画リストが表示されます。



4. 録画リストがサムネイルで表示されます。  
再生する録画を選択し、クリックします。

画面下側のアイコン操作にて、表示されていないサムネイルに切り替えられます。



5. 選択したファイルの再生を開始します。  
他のファイルを再生する場合、画面下側のサムネイルから選択して再生することができます。
6. 再生を終了する場合は、右クリックします。  
ライブ映像画面に戻ります。

メモ：人体検知した映像は、再生画面から直接バックアップすることはできません。

バックアップする場合、録画されている時間をメモして、バックアップ画面から対象の時間帯を指定してバックアップをしてください。

バックアップ方法は、「3-6. 録画映像をバックアップする」を参照してください。

### 3-8. 録画装置の電源を切る

録画装置の使用を終え、電源を切る方法を説明します。

録画装置を長期間使用しない場合は、電源を切断してください。

**ご注意：以下の手順を踏まえずに電源アダプタを抜くと、録画データ等が消失するおそれがあります。**



1. ライブ映像画面で右クリックして、メニューを表示させ、[システム終了]をクリックします。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)



2. [シャットダウン]をクリックします。  
確認画面が表示後、[はい]をクリックするとシャットダウンします。



3. 「電源オフにしてください。」と表示されたら、電源アダプタ（または電源プラグ）を抜きます。















## 4. メニューの説明

録画装置のメニューについて説明します。

ライブ映像画面でマウスを右クリックすると、メニューが表示されます。

メニュー操作するには、ログイン操作 (P. 18) が必要です。

### 4-1. メニュー画面

 分割画面 ▶	… 表示画面数 (1/4/6/8 分割画面) を設定します	P. 29
 ビデオ管理	… 本装置で録画するカメラの登録、チャンネル番号の設定	P. 29
 システム設定	… 録画装置の詳細設定を行います	P. 30
 ビデオ再生	… 再生を行います	P. 22
 AI再生	… 人体検知の再生を行います	P. 25
 バックアップ	… 録画映像のバックアップを行います	P. 23
 ボリューム ▶	… 音量を調整します	
 ウィザード	… 初期設定を行います	P. 16
 ネットワーク設定	… ネットワークの設定を行います (3-1. 手順8を参照)	P. 17
 リピータ	… リピータ接続の設定を行います	P. 57
 追加Wireless	… カメラを追加する場合に設定します	P. 55
 システム終了	… ログアウト、再起動、電源オフをします	P. 26

### 4-2. 画面内のアイコンの説明

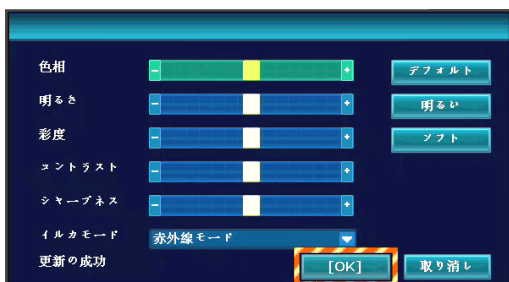


対象画面内をクリックすると、画面下側にアイコンが表示されます。

アイコンの機能について説明します。

	音声出力 (ON:  / OFF:  )を設定します。		
	全画面表示にします。この操作で全画面表示時、右クリックすると元の画面に戻ります。		
	映像の色彩を調整します。		
	カメラのPTZ操作を行います。(PTZカメラを装着した場合のみ操作可能です。)		
	スケジュール録画による録画中です。		動体検知をしています。
	カメラの電波強度です。		チャンネル番号です。
	人体検知をしています。		
	ネットワークに接続しています。		ネットワークに接続していません。
	エラー(イベント)が発生しています。クリックするとエラーステータス画面が表示されます。		

### 4-3. 映像の色彩を調整する



1. 対象画面内をクリックすると、画面下側にアイコンが表示されます。

2.  アイコンをクリックします。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)

3. 画面右下側に、色彩調整画面が表示されます。色相、明るさ、彩度、コントラスト、シャープネス等を調整します。

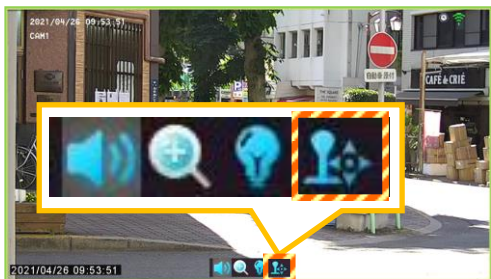
[OK]をクリックすると、反映されます。

### 4-4. PTZ操作

PTZ型カメラを設置した場合、PTZ操作をしてカメラの画角を調整することができます。

PTZとは、パン・チルト・ズームを意味します。パンとは、カメラの向きを左右に動かすことです。

チルトは、カメラの向きを上下に動かすことです。ズームは、望遠(ズームイン)または広角(ズームアウト)にすることです。



1. 対象画面内をクリックすると、画面下側にアイコンが表示されます。

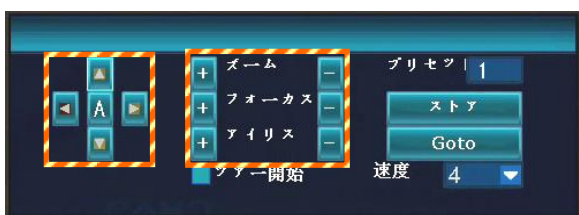
2.  アイコンをクリックします。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)

3. PTZ操作画面が表示されます。

カメラの向き、ズーム、フォーカス(ピント)、アイリス(絞り)を調整できます。

- [◀][▶]をクリックして、左右(パン)向きを調整します。
- [▲][▼]をクリックして、上下(チルト)向きを調整します。
- [+][-]をクリックして、ズーム、フォーカス、アイリスを調整します。
- [A]をクリックすると、左または右向きに動きます。



## 4-5. 表示画面数の変更

画面上に表示するカメラ映像数を変更できます。



1. ライブ映像画面で右クリックして、メニューを表示させ、[分割画面]をクリックします。
2. 表示画面数(X1/X4/X6/X8)をクリック後、さらに表示させるチャンネル番号をクリックします。
3. 設定した画面数でライブ映像が表示されます。

## 4-6. カメラ映像位置の入れ替え（チャンネル番号の変更）

カメラのチャンネル番号を変更することで、ライブ映像の位置を変更することができます。

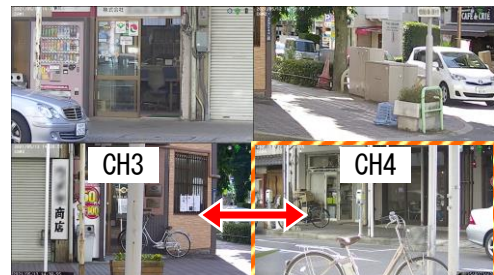


1. ライブ映像画面で右クリックして、メニューを表示させ、[ビデオ管理]をクリックします。  
ビデオ管理画面が表示されます。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)



2. カメラ映像の位置を変更するチャンネルを選択後、[▲]・[▼]をクリックして、チャンネル番号を移動します。  
(左図の操作例は、4チャンネルの映像を、3チャンネルに変更する場合です。)



3. [OK]をクリックします。  
チャンネルを変更することで、画面表示位置が変わります。

## 5. システム設定

本装置のシステム設定を行います。

ライブ映像画面でマウスを右クリックすると、メニューが表示され、**システム設定** をクリックします。このときログイン画面が表示された場合、ログイン操作 (P.18) をします。

設定後、画面下側の **適用** をクリックして、設定を保存します。設定画面は閉じません。

設定後、画面下側の **[OK]** をクリックすると、設定を保存し、設定画面を閉じます。

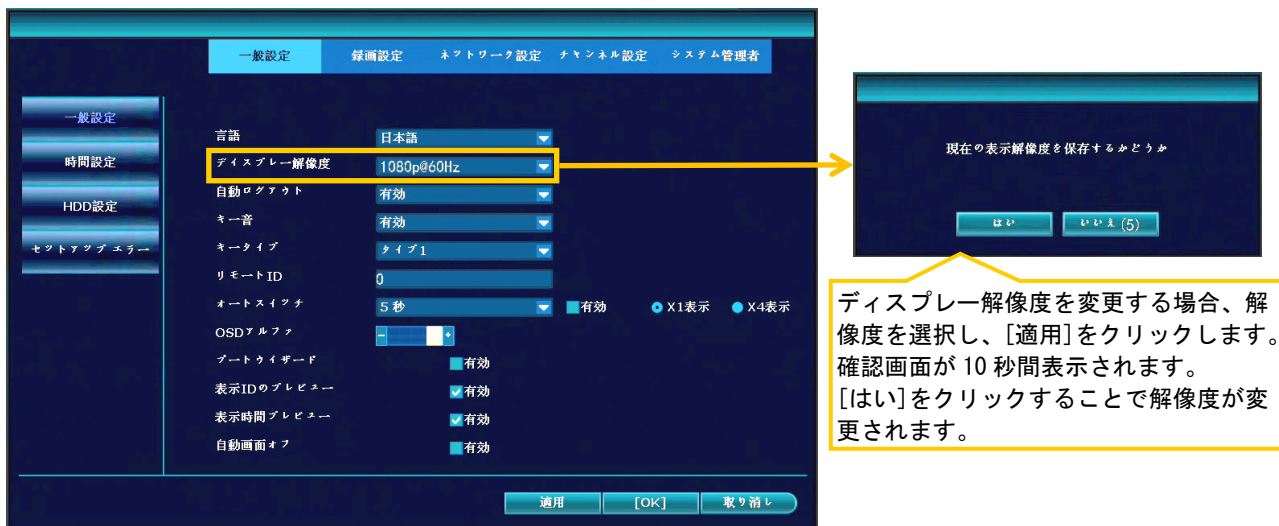
システム設定を終える場合は、画面下側の **取り消し** をクリックして、画面を閉じます。

### 5-1. 一般設定

#### 5-1-1. 一般設定

表示言語、ディスプレイ(モニター)の解像度、自動でログアウトする設定等の変更ができます。

HDMI ケーブルで外部モニターに出力する場合、ディスプレイ解像度を設定します。



ディスプレイ解像度を変更する場合、解像度を選択し、**[適用]** をクリックします。確認画面が10秒間表示されます。**[はい]** をクリックすることで解像度が変わります。

#### 5-1-2. 時間設定

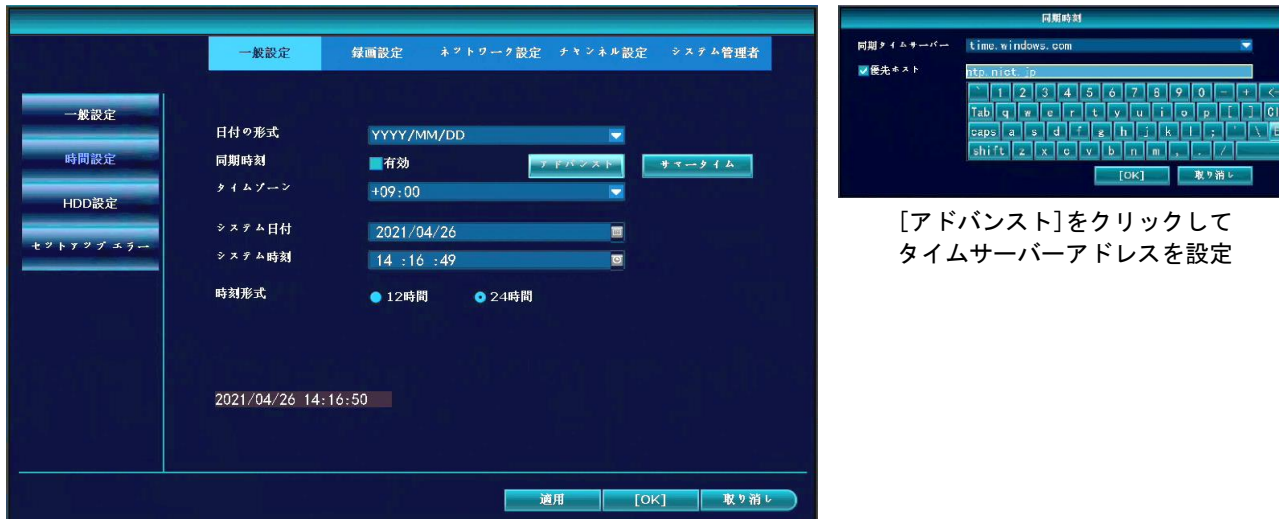
録画装置の日付・時刻の調整、および表示形式を設定します。タイムゾーンは[+09:00]にします。

**[適用]** をクリックすると、時刻が調整されます。

ネットワークに接続した場合、**[アドバンス]** をクリックして、タイムサーバーを設定すると、ネットワーク経由で時刻を同期して時刻を自動で補正することができます。

**ご注意：時刻は定期的に確認してください。必要に応じて時刻を調整してください。**

**同期時刻に☑が入っていると、時刻が手動で調整できません。☑を外してください。**



**[アドバンス]** をクリックしてタイムサーバーアドレスを設定

### 5-1-3. HDD設定

記録媒体(HDD)の状態を確認、上書き保存の設定、及び記録媒体のフォーマットを行います。

上書きに✓を入れると、記録媒体の空き容量がなくなると、自動的に古いファイル削除して上書き保存されるため、記録媒体を使用し続けられます。

また、記録媒体をフォーマットすることで、録画されているすべての映像を削除することができます。ただし、一部の映像を指定して削除することはできません。

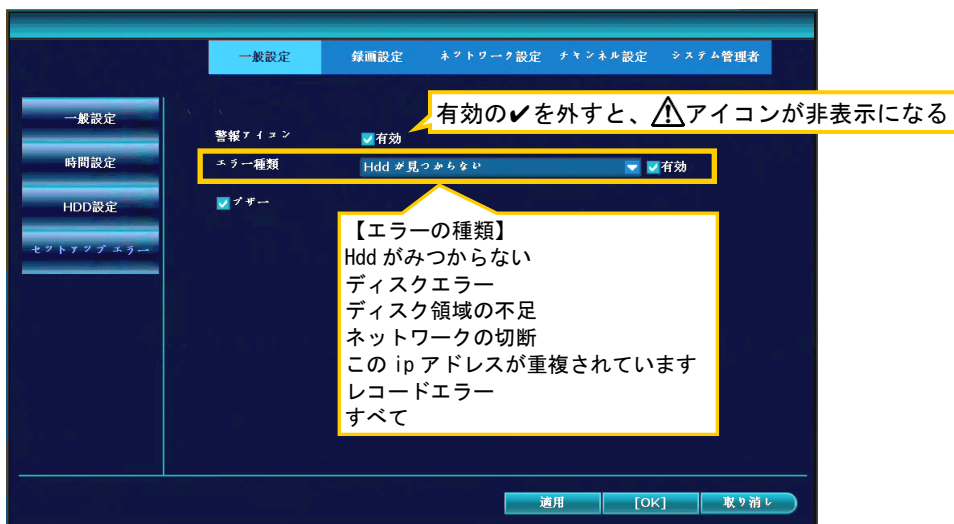


記録媒体(HDD)をフォーマットする方法：

1. ID 1 枠のフォーマット欄に、✓を入れてから、表の下側の[フォーマット]をクリックします。
2. 「すべてのデータが削除されます。続行してもよろしいですか?」と表示されます。
3. [はい]をクリックすると、フォーマットを開始します。
4. フォーマット終了後、フォーマット欄の✓を外して、[OK]をクリックします。

### 5-1-4. セットアップエラー

エラーが発生した場合、画面に⚠️アイコンが表示、またはブザーを鳴らして通知する設定を行います。



エラー通知の設定方法：

1. 通知するエラー種類を、ドロップダウンリストで選択し、有効に✓を入れます。
2. ブザーを鳴らす場合、✓を入れます。
3. 他のエラーも設定する場合、手順1、2を繰り返します。
4. 設定後、[OK]をクリックします。

## 5-2. 録画設定

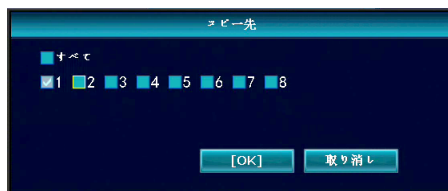
指定のチャンネルで指定の時間帯を自動で録画する設定を行います。(出荷時は全チャンネル終日録画)



以下の手順で、設定します。

1. チャンネル番号①を選択します。
2. 設定する録画モード② (時間・モーション) を選択します。
3. 録画する時間帯③を、マウスのドラッグ操作で選択します。
4. 手順1に戻り、他のチャンネル番号の録画スケジュールを設定します。  
または、[コピー先]④をクリックして、スケジュールの設定をコピーすることもできます。
5. 設定後、[適用]または[OK]⑤をクリックして、設定を確定します。

- ・チャンネル： 設定するチャンネル番号を選択
- ・時間(赤丸)： 指定の時間帯を自動で録画します。
- ・モーション(緑丸)： 指定の時間帯に画面に動きを検知した場合に自動で録画します。  
(「5-4-4. ビデオ検出」の設定も併せて行います。)
- ・アラーム(黄丸)： 本装置では使用しません。
- ・[すべて選択]： 全時間帯に対し適用する場合にクリックします。
- ・[リセット]： 全時間帯の設定を削除する場合にクリックします。
- ・[コピー先]： 他のチャンネル番号も同じ設定をする場合にクリックします。



- ・[適用]： 設定を確定します。画面は閉じません。
- ・[OK]： 設定を確定して、画面を閉じます。



## 5-3. ネットワーク設定

### 5-3-1. ネットワーク設定

ネットワーク接続するための設定を行います。

**ご注意：ネットワークの設定を変更する場合、必ずネットワーク管理者に確認してください。**

正しく設定を行わないと、録画装置にアクセスできなくなるだけでなく、他のネットワーク機器が使用できなくなる恐れがあります。

The screenshot shows the 'ネットワーク設定' (Network Settings) menu. The 'DHCP' option is selected and highlighted with a yellow box. The configuration details are as follows:

IP アドレス	192.168.1.114
サブネット	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
MAC アドレス	083A-2FFF-FB4B
優先DNS	8.8.8.8
Webポート	80
MTU	1400
ネットワーク帯域幅	100 Mb/s
ネットワーク状態	健康ネットワーク

Additional information shown includes a QR code and an ID: 3568073662. A 'ネットワークの診断を開始する' (Start Network Diagnosis) link is also present. At the bottom, there are buttons for '適用' (Apply), '[OK]', and '取り消し' (Cancel).

### 5-3-2. DDNS

DDNS（ダイナミックドメインネームシステム）を使用する場合、設定を行います。

**ご注意：本装置はDDNS設定機能を保有していますが、接続および安全性の保障は致しません。**

The screenshot shows the 'DDNS' configuration menu. The '有効' (Enabled) checkbox is checked. The configuration details are as follows:

DDNS機能	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
プロバイダ	Dyndns
URL	test.dyndns.org
ユーザー名	test
パスワード	****

A 'テスト' (Test) button is located below the password field. At the bottom, there are buttons for 'リセット' (Reset), '適用' (Apply), '[OK]', and '取り消し' (Cancel).

### 5-3-3. E-Mail

アラーム発生時に、Eメールでメッセージを送信するための設定を行います。

**ご注意：メールサーバーまたはセキュリティの環境により、使用できない場合があります。**

#### Eメールの設定方法：

1. 有効に✓を入れます。
2. SMTPプロバイダを選択します。
3. その他のパラメータに☑を入れます。詳細な設定が表示されます。
4. 送信者のアドレス、パスワードを入力します。
5. SMTPサーバーを入力します。
6. ポート番号を入力します。
7. 暗号化の種類(TLS/SSL)を選択します。適用しない場合は[None]を選択します。
8. 受信者のアドレスを入力します。
9. Eメールのタイトル名、送信するインターバル等を設定します。
10. [テスト]をクリックすると、送信テストができます。  
送信ができると、「E-Mail テスト完了」と表示されます。
11. 設定後、[OK]をクリックします。

The screenshot shows the 'E-Mail' configuration screen within a 'Network Settings' menu. The interface is in Japanese and includes the following elements:

- Navigation Tabs:** 一般設定 (General), 録画設定 (Recording), ネットワーク設定 (Network Settings), チャンネル設定 (Channel Settings), システム管理者 (System Administrator).
- Left Sidebar:** ネットワーク設定 (Network Settings), DDNS, E-Mail (selected), Wireless設定 (Wireless Settings), PPPoE, 無線ネットワーク (Wireless Network).
- Main Configuration Area:**
  - E-Mailの機能:**  有効
  - SMTPプロバイダ:** gmail (dropdown menu)
  - 送信者:** [redacted]@gmail.com
  - パスワード:** \*\*\*\*\*
  - SMTPサーバー:** smtp.gmail.com
  - ポート:** 465
  - 暗号化の種類:** SSL (dropdown menu)
  - 受信者1:** [redacted]@gmail.com
  - 受信者2:** [redacted]
  - タイトル:** NVR Report
  - インターバル:** 30 秒
  - ヘルスメッセージを有効:**
  - ヘルスメッセージ間隔:** 30 分
- Buttons:** テスト (Test), 表示 (Show), リセット (Reset), 適用 (Apply), [OK], 取り消し (Cancel).





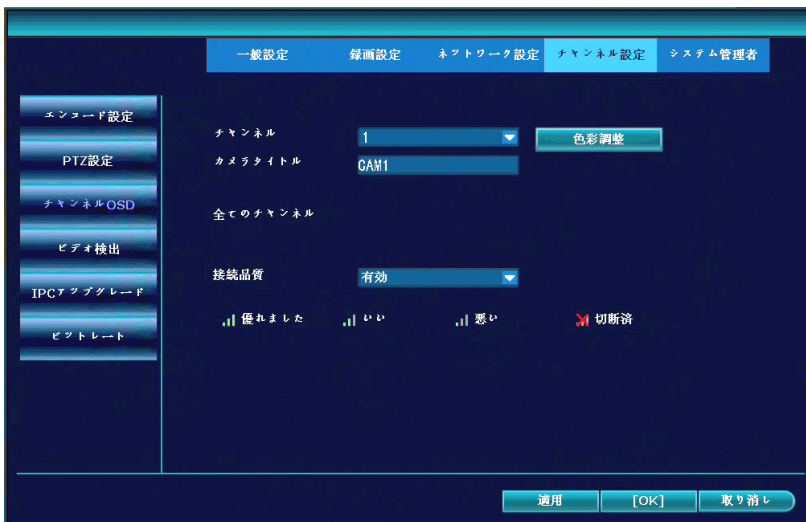
### 5-4-2. PTZ設定

本装置では、使用しません。



### 5-4-3. チャンネルOSD

各カメラチャンネルのタイトル表示、色彩調整、および通信状態の表示設定を行います。  
[色彩調整]をクリックすると、映像の明るさ等の設定が可能です。



■色彩調整画面中の「イルカモード」の設定

モード	昼間の撮影	夜間の撮影	夜間の点灯
赤外線モード	カラー	白黒	赤外線を点灯
デーライト	カラー	カラー	—
夜	白黒	白黒	赤外線を点灯
フルカラーモード	カラー	カラー	白色灯を点灯
スマートモード	カラー	白黒	通常時：赤外線を点灯 動体検知時：赤外線・白色灯を点灯

#### 5-4-4. ビデオ検出

映像に動き（モーション）を検知する設定を行います。設定後、[保存]をクリックします。

この機能は、映像データ（被写体）の変化を検知する機能です。

人または車両が動くとき、映像データが変化するため、検知したと判定します。

この機能は、樹木の揺れ、光、影の変化でも検知する場合があります。この場合、感度を調整します。

動体検知による録画をする場合、下記の設定とスケジュールの設定を合わせて行います。

設定方法：

1. チャンネル番号を選択します。
2. 検出は[モーション]を選択します。
3. 有効に✓を入れます。
4. 感度（5段階：最高～最低）を選択します。
5. 人体検知機能を使用する場合、[人体]に✓を入れます。  
また[ボデイリージョン]に✓を入れると、人体検知箇所が赤色の枠で表示されます。
6. アラーム期間（1～10秒、継続）を選択します。
7. [エリア編集]をクリックし、検知するエリアを、マウスをドラッグして設定します。
8. 必要に応じて、[アーミング時間]（検出を有効にする時間帯）を設定します。
9. 設定する通知手段（[ブザー]、[E-Mail通知]、[全画面表示]は設定可能）✓を入れます。
10. 手順1に戻り、他のチャンネルも同様に設定します。  
または、[コピー先]をクリックして、設定をコピーすることもできます。
11. 設定後、[OK]をクリックします。

**エリア編集画面**

[全てのファイル] 全エリアを検知する  
[全消去] 全エリアを検知しない  
[戻る] 編集画面を終了する

一部エリアを指定する場合  
[全消去]を選択後、対象エリアをマウス操作で検知エリアを選択する

コピー先画面

アーミング時間画面

### 5-4-5. IPCアップグレード

カメラの IP アドレス、及びカメラのソフトウェアのバージョンが確認できます。

The screenshot shows the 'IPCアップグレード' (IPC Upgrade) screen in a web interface. The top navigation bar includes '一般設定', '録画設定', 'ネットワーク設定', 'チャンネル設定', and 'システム管理者'. The left sidebar has 'エンコード設定', 'PTZ設定', 'チャンネルOSD', 'ビデオ検出', 'IPCアップグレード', and 'ビットレート'. The main area contains a table with the following data:

チャンネル	IP アドレス	S/Wバージョン	ステータス	選択
1	172.20.14.64	3.5.83.57201033600		<input type="checkbox"/>
2	172.20.14.237	3.5.83.57201033600		<input type="checkbox"/>
3	172.20.14.72	3.5.83.57201033600		<input type="checkbox"/>
4	172.20.14.43	3.5.83.57201033600		<input type="checkbox"/>

Below the table, there is a page indicator '< 1 / 1 >', a 'すべて' (All) button, a dropdown menu for 'からファームウェア' (From Firmware) set to 'USBメモリー', and a '開始' (Start) button. A checkbox 'デバイスロダウングレードを許可します' (Allow device downgrade) is checked. At the bottom, there are '[OK]' and '取り消し' (Cancel) buttons.

### 5-4-6. ビットレート

現在の通信速度（キロバイト/秒、メガバイト/時）が表示されます。

The screenshot shows the 'ビットレート' (Bitrate) screen in the same web interface. The top navigation bar and left sidebar are identical to the previous screen. The main area contains two tables. The left table shows current communication speeds:

チャンネル	Kb/s	MB/H
1	1337	437
2	1015	274
3	786	134
4	685	118
5	0	0
6	0	0
7	0	0
8	0	0

The right table shows the 'スループット' (Throughput) for each channel, with all values being '---':

チャンネル	スループット
1	---
2	---
3	---
4	---
5	---
6	---
7	---
8	---

At the bottom, there is a '更新' (Refresh) button and a summary line: '合計: 3823 Kb/s 963 MB/H'. At the very bottom, there are '適用' (Apply), '[OK]', and '取り消し' (Cancel) buttons.

## 5-5. システム管理者

### 5-5-1. バージョン情報

録画装置のバージョン情報が表示されます。



### 5-5-2. システムログ

録画装置のログ(履歴)を、イベントタイプと時間を指定して確認できます。





### 5-5-3. ユーザー管理

ユーザー管理の設定が行えます。ユーザーの追加、削除、変更や操作権限を設定することができます。

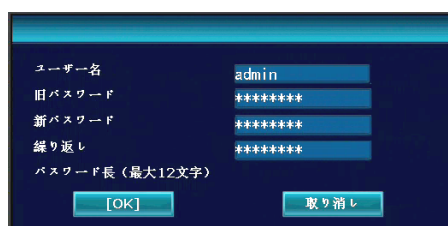
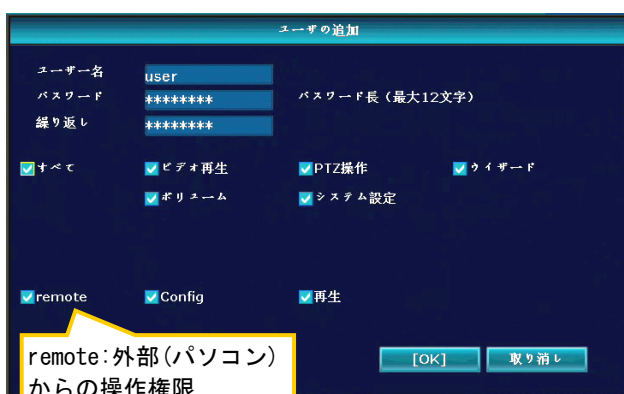
**ご注意：パスワードを変更した場合、パスワードを忘れないように必ずメモをしておいてください。**

ユーザーの追加方法：

1. [ユーザの追加]をクリックします。
2. ユーザー名、パスワード、繰り返し(パスワード)を入力し、操作を許可する操作に✓を入れて、[OK]をクリックします。

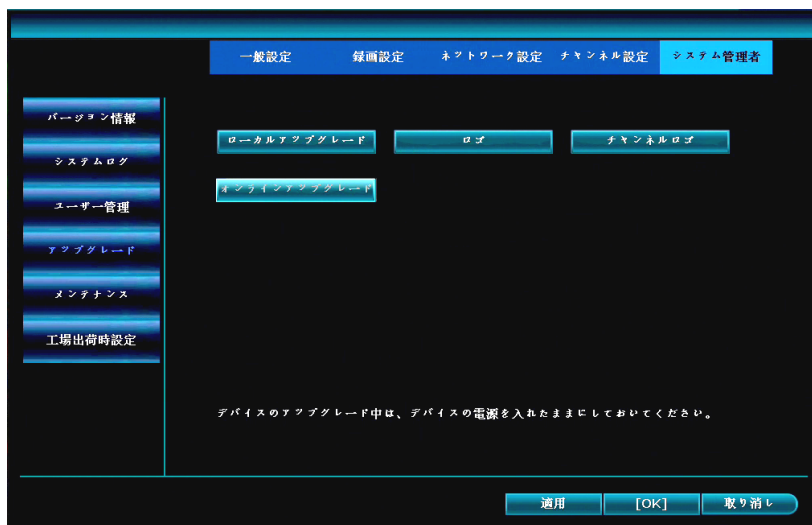
管理者パスワードの設定方法：

1. ユーザーリストから、パスワードを変更するユーザーを選択(青色)します。
2. [パスワード設定]をクリックします。
3. 旧パスワード、新パスワード、繰り返し(新パスワード)を入力し、[OK]をクリックします。



#### 5-5-4. アップグレード

操作しないでください。(録画装置のファームウェアをアップグレードする箇所です。)



#### 5-5-5. メンテナンス

自動で再起動する設定が行えます。

無効(再起動しない)、毎日、毎週、毎月の間隔が設定できます。

[毎日]を設定した場合、午前2時頃に再起動されます。



### 5-5-6. 工場出荷時設定

- 工場出荷時の設定に戻す場合、[簡単な復元]をクリックすると、確認画面が表示されます。  
[はい]をクリックすると、チャンネル番号、ネットワーク設定、及びユーザー情報を保持して、その他の設定を工場出荷時の状態に戻します。
- 録画装置の設定（コンフィグレーション）を、インポート／エクスポートすることもできます。

**ご注意：復元を実行すると、ウィザード画面が表示され、初期設定をやり直します。（P.16を参照）**

**タイムゾーン「+09:00」と現在の時刻を設定します。**

**また、HDMI出力からモニターを接続する場合は、モニター解像度の値を変更します。**

**（「5-1-1. 一般設定」を参照）**



## 6. パソコンで映像を確認する

ネットワークに接続した録画装置を、Windows パソコンのウェブブラウザ(Internet Explorer)でライブ映像が確認できる「Network video client」の操作方法について説明します。

**ご注意：ウェブブラウザは、Internet Explorer または Microsoft Edge の「Internet Explorer モード」を使用してください。Google Chrome は使用できません。**  
**映像の確認するためには、高速の通信環境下で使用してください。**  
**Microsoft Edge の「Internet Explorer モード」の設定方法については、「6-4. Internet Explorer モードの設定」を参照してください。**

### 6-1. ネットワークの接続

パソコンで映像を確認するためには、ネットワークへの接続が必要です。下記の事項をご確認ください。

#### ◆家庭(会社)内の LAN に接続したパソコンで、録画装置の映像を確認する場合

- ・録画装置に、プライベート IP アドレスを設定します。
- ・ご使用している他の機器と IP アドレスが競合しないように設定します。

#### ◆外部のパソコンから、録画装置の映像を確認する場合

- ・録画装置に、グローバル IP アドレスを設定します。
- ・グローバル IP アドレスの取得については、ご契約のプロバイダ業者に問い合わせてください。

#### ◆IP アドレスの設定

The image shows the process of setting IP addresses on the recording device. On the left, a mouse cursor points to the 'システム設定' (System Settings) option in a menu. On the right, the 'ネットワーク設定' (Network Settings) screen is shown with the 'DHCP' option selected. The IP address is set to 192.168.1.114, the subnet to 255.255.255.0, and the gateway to 192.168.1.1. The 'DHCP' checkbox is unchecked. The 'OK' button is highlighted at the bottom right.

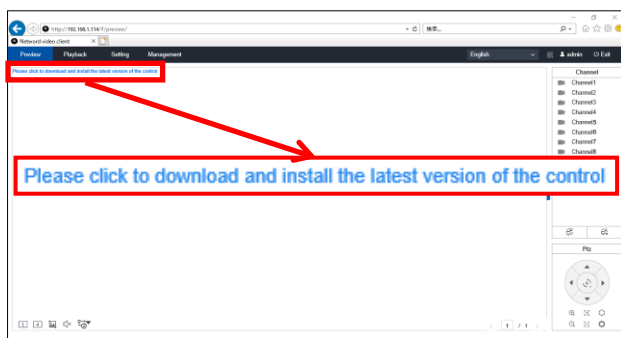
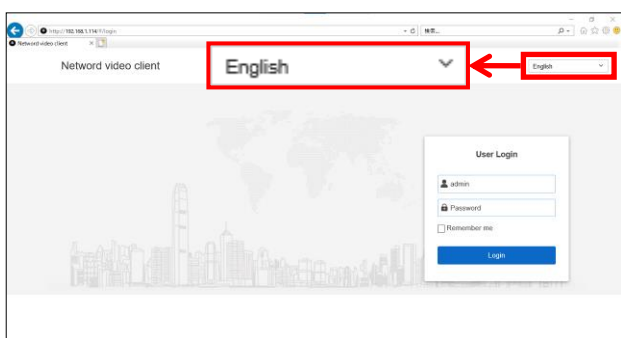
1. ライブ映像から、右クリックして、メニューを表示させ、[システム設定]をクリックします。
2. [ネットワーク設定]→[ネットワーク設定]をクリックします。
3. DHCP の  を外し、 (チェック無し)にします。
4. IP アドレス、サブネット、及びゲートウェイを入力します。
5. [OK]をクリックします。

#### ◆信頼済みサイトへの登録

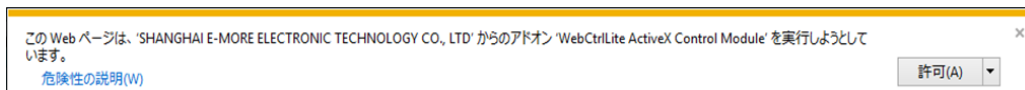
Internet Explorer で、録画装置の IP アドレスを、信頼済みサイトとして登録する必要があります。画面右上側の アイコン⇒[インターネットオプション]⇒[セキュリティ]⇒[信頼済みサイト]画面⇒[サイト]をクリックし、録画装置に登録する IP アドレスを追加します。

## 6-2. Network video clientの起動方法

ウェブブラウザは、Internet Explorer をご使用ください。



6. 画面下側に、「この Web ページは、……のアドオン “WebCtrlLite ActiveX Control Module” を実行しようとしています。」と表示された場合、[許可]をクリックします。

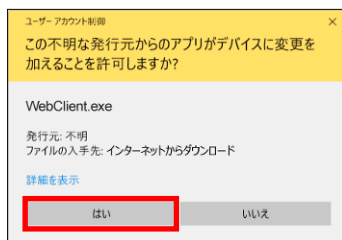


1. Internet Explorer を起動します。
2. アドレスバーに、録画装置の IP アドレスを入力します。  
録画装置の IP アドレスは、マウスを右クリックし、メニューから、[システム設定]→[ネットワーク設定]→[ネットワーク設定]の画面内で確認できます。
3. Network video client の画面が表示されます。  
右上側のドロップダウンリストで、[English]を選択します。  
**【メモ】日本語表示はできません。**
4. 録画装置で設定されている「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、[Login]をクリックします。  
工場出荷時は、ユーザー名が「admin」、パスワードは「設定されていないため、空欄のまま、ログインします。
5. 始めてログインした場合、映像が表示されません。プラグインのインストールが必要です。  
「Please click to download and install the latest version of the control.」をクリックします。  
2 回目以降にログインした場合、カメラ映像が表示されます。

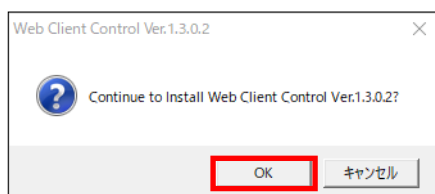
7. 画面下側に、「XXX.XXX.XXX.XXX から WebClient.exe を実行または保存しますか？」と表示されます。[実行]をクリックします。



8. 画面下側に、「WebClient.exe の発行元を確認できませんでした。このプログラムを実行しますか？」と表示された場合、[実行]をクリックします。



9. ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックします。

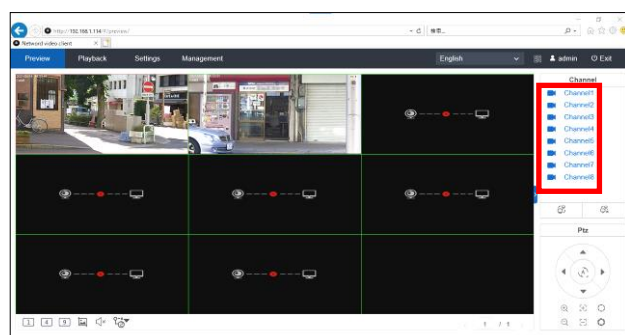


10. Web Client Control 画面が表示されます。  
[OK]をクリックします。  
インストールを実行します。



11. インストールが終わったら、一旦 Internet Explorer を閉じます。


12. もう一度、Internet Explorer を起動して、ログインします。(手順 1 から 4 の操作を参照)



13. プレビュー画面が表示されます。

画面右側のチャンネル番号をクリックする(灰色から青色)と、カメラ映像が表示されます。

【メモ】 Internet Explorer の「セキュリティ」の状態により、映像が映らない場合があります。

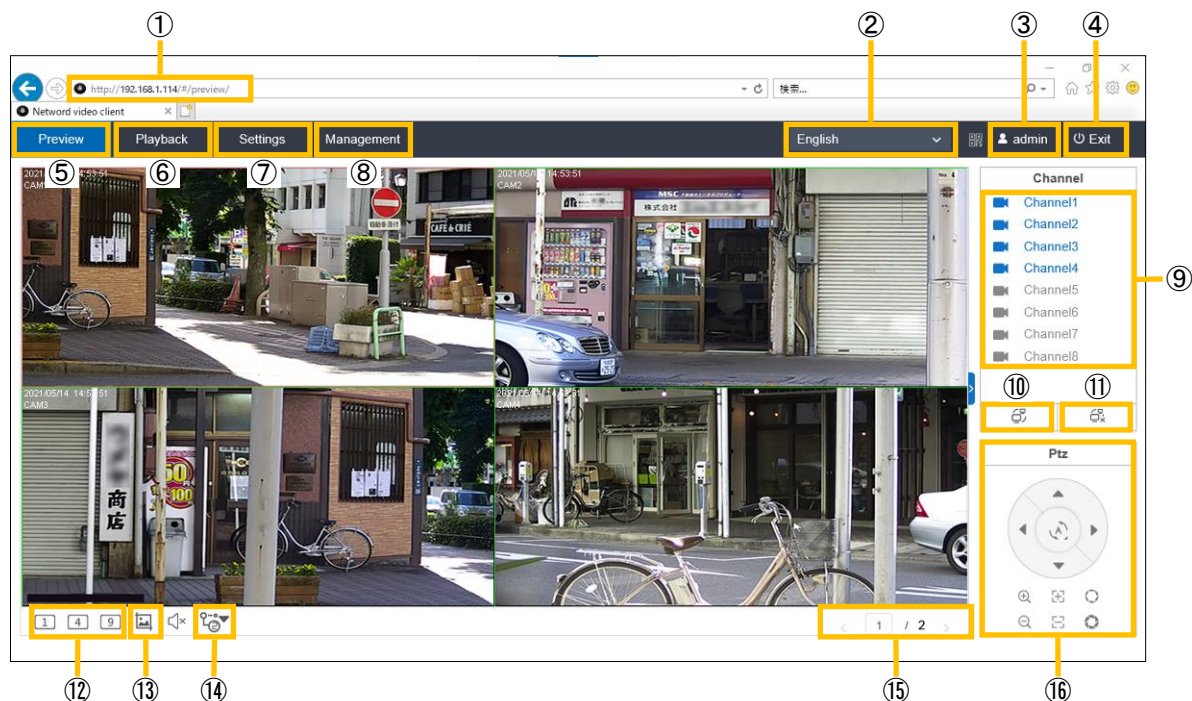
その際、Internet Explorer の  をクリックしてメニューを開き、[インターネットオプション]→[セキュリティ]タブ→[レベルのカスタマイズ]をクリックして、ActiveX コントロールとプラグインの設定 ([ActiveX コントロールとプラグインの実行]と[スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行]) を有効にしてください。

### 6-3. Network video clientの画面

Network video client は、英語で表示されます。日本語に変更できません。ご了承ください。

#### 6-3-1. Preview画面

ライブ映像を表示します。

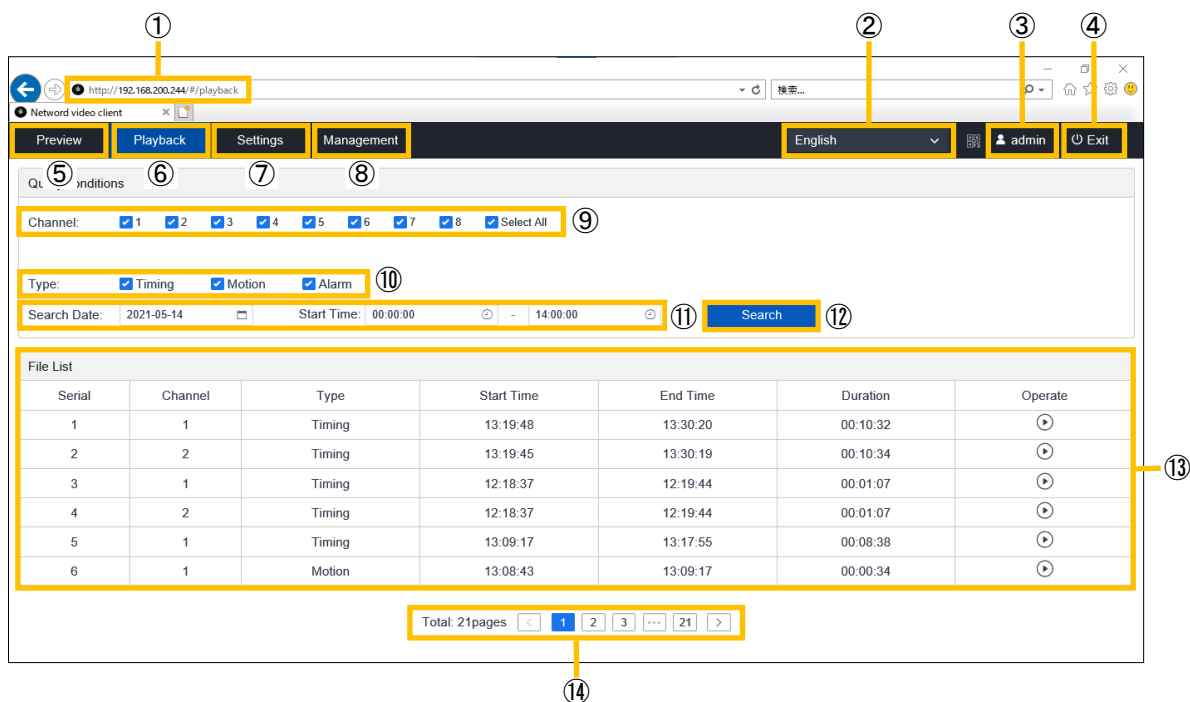
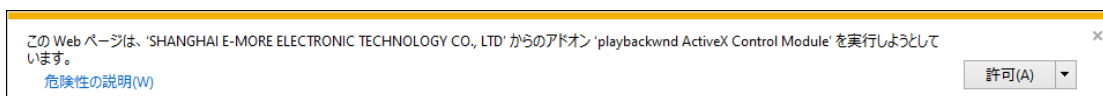


- |  |
|--|
| ① 録画装置に設定した IP アドレスを入力します。                             |
| ② この画面の表示言語 (英語/中国語) を切り替えます。                          |
| ③ 現在ログインしているユーザー名を表示します。                               |
| ④ ログアウトします。  |
| ⑤ Preview 画面 (上図の画面) に切り替えます。カメラのライブ映像が表示されます。         |
| ⑥ Playback 画面 (再生画面) に切り替えます。                          |
| ⑦ Settings 画面 (設定画面) に切り替えます。                          |
| ⑧ 本装置では使用しないでください。Management 画面 (カメラ登録) に切り替えます。       |
| ⑨ 各チャンネルの映像を、表示 (青色) / 非表示 (灰色) に切り替えます。               |
| ⑩ 全チャンネルの映像を表示します。                                     |
| ⑪ 全チャンネルの映像を非表示します。                                    |
| ⑫ 表示画面数を切り替えます。(1画面 / 4画面 / 9画面)                       |
| ⑬ クリックすると、選択画面のスナップショットと撮影します。                         |
| ⑭ 表示されているストリーム (①: 主映像 (高速回線用) / ②: 副映像 (モバイル回線用)) です。 |
| ⑮ ページ数を表示します。複数ページの画面がある場合、[<] / [>] をクリックして切り替えます。    |
| ⑯ PTZ カメラを選択 (赤枠) した場合、カメラの PTZ 操作ができます。               |

## 6-3-2. Playback画面

録画されている映像を再生できます。

【メモ】 Playback 画面を始めて表示させた場合、画面下側に、「この Web ページは、……のアドオン “playbackwnd ActiveX Control Module” を実行しようとしています。」と表示された場合は、[許可]をクリックします。



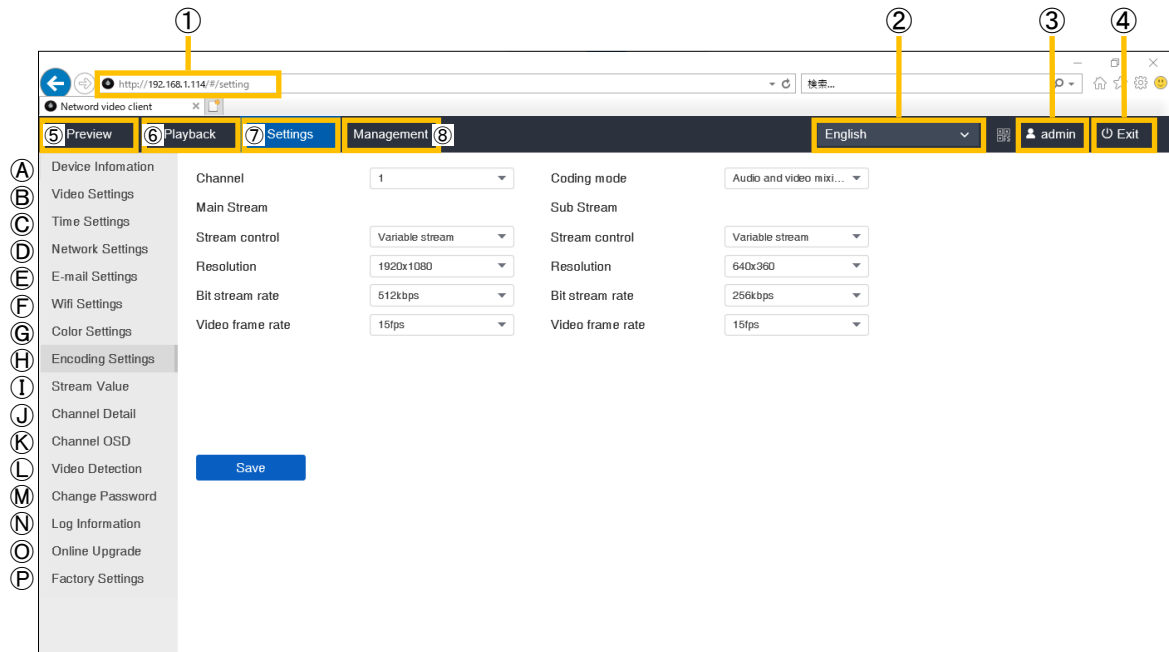
- ① 録画装置に設定した IP アドレスを入力します。
- ② この画面の表示言語 (英語/中国語) を切り替えます。
- ③ 現在ログインしているユーザー名を表示します。
- ④ ログアウトします。
- ⑤ Preview 画面 (ライブ映像を表示) に切り替えます。
- ⑥ Playback 画面 (上図の画面) に切り替えます。録画されている映像を再生します。
- ⑦ Settings 画面 (設定画面) に切り替えます。
- ⑧ 本装置では使用しないでください。Management 画面 (カメラ登録) に切り替えます。
- ⑨ 再生するチャンネル番号に  を入れます。
- ⑩ 再生する録画種類 (Timing: スケジュール、Motion: モーション) に  を入れます。
- ⑪ 再生する時間帯を設定します。
- ⑫ [Search] をクリックすると、⑨、⑩、⑪ で設定した条件で検索します。
- ⑬ ⑫ で検索した結果が表示されます。▶ をクリックすると、再生を開始します。
- ⑭ ページ数を表示します。複数ページの画面がある場合、[<]/[>] をクリックして切り替えます。



### 6-3-3. Settings画面

録画装置の設定の確認、及び変更ができます。

設定を変更した場合、[Save]をクリックしてください。設定を反映されます。



①	録画装置に設定した IP アドレスを入力します。
②	この画面の表示言語(英語/中国語)を切り替えます。
③	現在ログインしているユーザー名を表示します。
④	ログアウトします。
⑤	Preview 画面(ライブ映像を表示)に切り替えます。
⑥	Playback 画面に切り替えます。録画されている映像を再生します。
⑦	Settings 画面(上図の画面)に切り替えます。
⑧	本装置では使用しないでください。Management 画面(カメラ登録)に切り替えます。
Ⓐ	Device Information 本装置のシリアル番号やファームウェアのバージョン等が表示されます。
Ⓑ	Video Settings 録画スケジュールを設定します。(時間とモーション録画時間帯の設定)
Ⓒ	Time Settings 日付時刻を調整します。
Ⓓ	Netrowk Settings ネットワークパラメータを設定します。
Ⓔ	E-mial Settings Eメール送信するための設定をします。
Ⓕ	Wifi Settings 無線チャンネルを設定します。
Ⓖ	Color Settings 各カメラ映像の色彩を設定します。
Ⓕ	Encoding Settings 各カメラの解像度(Resolution)、ビットレート(Bit stream rate)、フレームレート(Video frame rate)を設定します。
①	Stream Value 現在の各チャンネルの通信量を確認します。
Ⓙ	Channel Detail カメラの解像度とソフトウェアのバージョンを確認します。
Ⓚ	Channel OSD チャンネル番号の表示名の設定をします。
Ⓛ	Video Detection モーション検知を設定します。
Ⓜ	Change Password 管理者パスワードを変更します。
Ⓝ	Log Information ログ(履歴)を検索します。
Ⓞ	Online Upgrage 本装置では使用しません。
Ⓟ	Factory Settings 工場出荷時の状態に戻します。

## 6-4. Internet Explorerモードの設定

マイクロソフト社は、2022年6月15日でInternet Explorer 11のサポートを終了しています。Microsoft EdgeのInternet Explorerモード(IEモード)を使用することで、映像を確認できます。以下の手順は、Windows10で説明していますが、Windows11でも同様の操作で設定できます。

### 6-4-1. IEモードへの設定方法

「Internet Explorerモード」を有効にすると、Microsoft Edgeの右上に表示される「…」メニューに「Internet Explorerモードで再読み込みする」が追加されます。



1. Microsoft Edge 右上の「…」をクリックし、メニューが表示されたら、「設定」をクリックします。



2. 「設定」メニュー左側の「既定のブラウザー」をクリックします。画面右側に「Internet Explorerの互換性」メニューが表示されます。



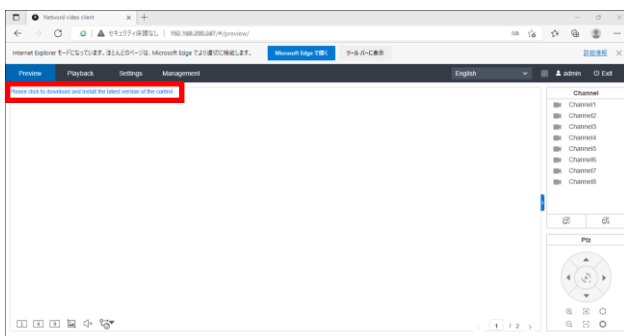
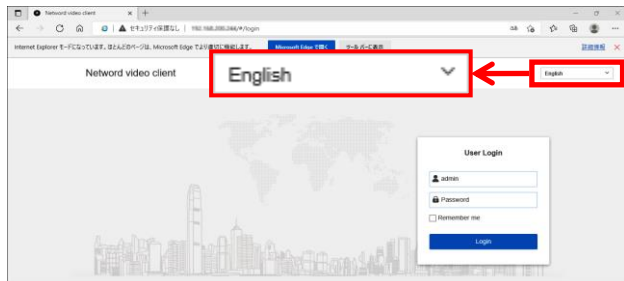
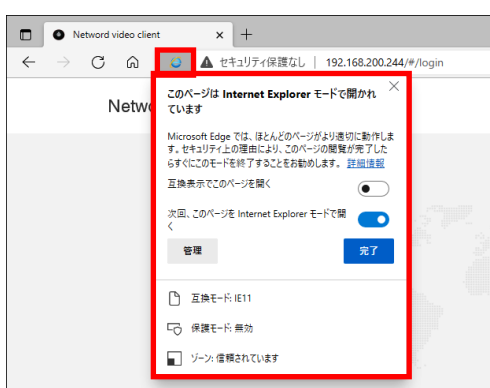
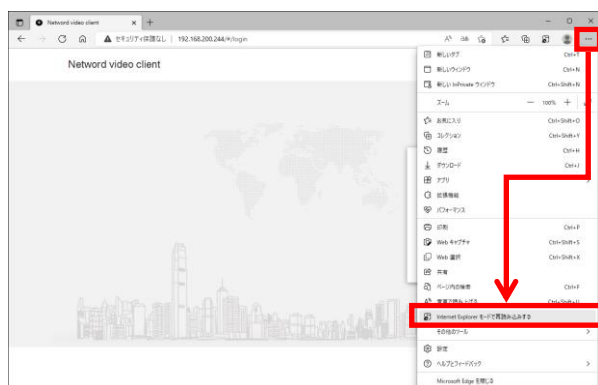
3. Internet Explorerの互換性メニューの「Internet Explorerモードでサイトの再読み込みを許可」設定を、「許可」に変更します。



4. 設定を変更後、「再起動」をクリックすると、設定が反映した状態でMicrosoft Edgeが再起動します。

## 6-4-2. IEモードの使用方法

Microsoft Edge で録画装置の IP アドレスを入力後、Internet Explorer モードで表示させます。  
パソコンから録画装置へ初めて接続する場合、プラグインのインストールを実行します。

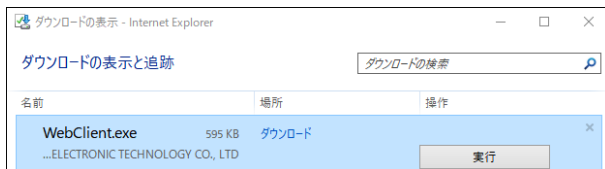


1. Microsoft Edge のアドレスバーに、録画装置の IP アドレスを入力して、ブラウザを開きます。
2. Microsoft Edge 右上の [...] をクリックし、[Internet Explorer モードで再読み込みする] をクリックすると、Microsoft Edge が Internet Explorer モードで開きます。
3. 「このページは Internet Explorer モードで開かれています」の画面が表示されます。[完了] をクリックします。
4. Network video client の画面が表示されます。右上側のドロップダウンリストで、[English] を選択します。  
**【メモ】日本語表示はできません。**
5. 録画装置で設定されている「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、[Login] をクリックします。  
工場出荷時は、ユーザー名が「admin」、パスワードは「設定されていないため、空欄のまま、ログインします。」
6. 始めてログインした場合、映像が表示されません。プラグインのインストールが必要です。  
「Please click to download and install the latest version of the control.」をクリックします。  
プラグインのインストール後にログインした場合、プレビュー画面(手順 16)が表示されます。

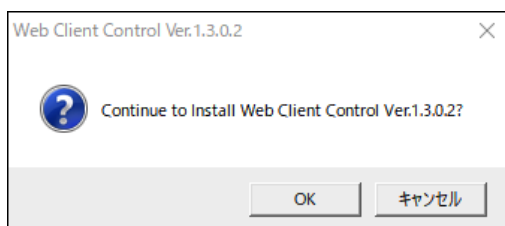
- 画面下側に、「XXX.XXX.XXX.XXX から WebClient.exe を実行または保存しますか？」と表示されます。[保存]をクリックします。



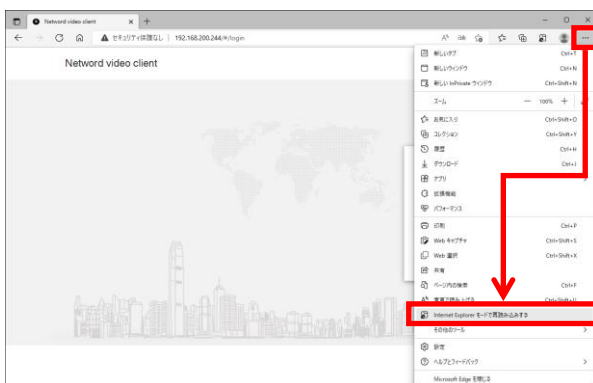
- 画面下側に、「WebClient.exe のダウンロードが完了しました？」と表示された場合、[ダウンロードの表示]をクリックします。



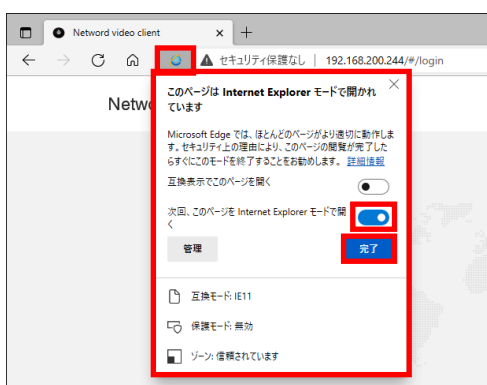
- ダウンロードの表示画面から、ダウンロードしたファイル「WebClient.exe」の[実行]をクリックします。



- [OK]をクリックします。  
プラグインのインストールを開始します。  
(数秒の間に、黒い画面が数回表示されます。)  
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックします。



- Microsoft Edge を再起動して、アドレスバーに、録画装置の IP アドレスを入力します。
- Microsoft Edge 右上の [...] をクリックし、[Internet Explorer モードで再読み込みする]をクリックして、Internet Explorer モードで開きます。

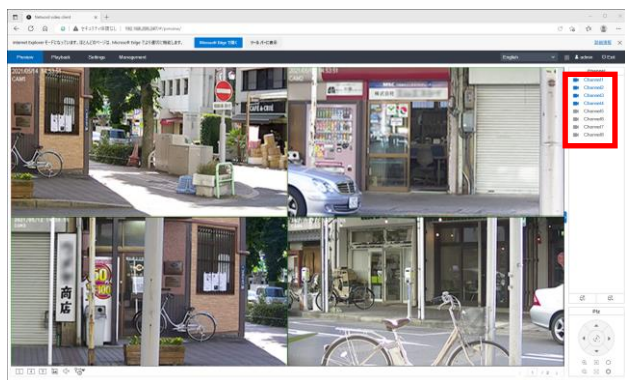
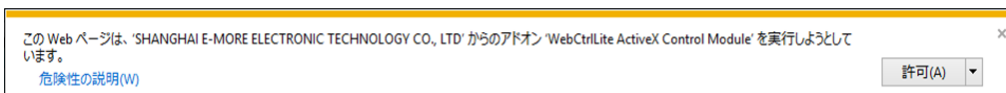


- 「このページは Internet Explorer モードで開かれています」の画面が表示されます。  
「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」を [オン] (右側) にします。  
その後、[完了]をクリックします。

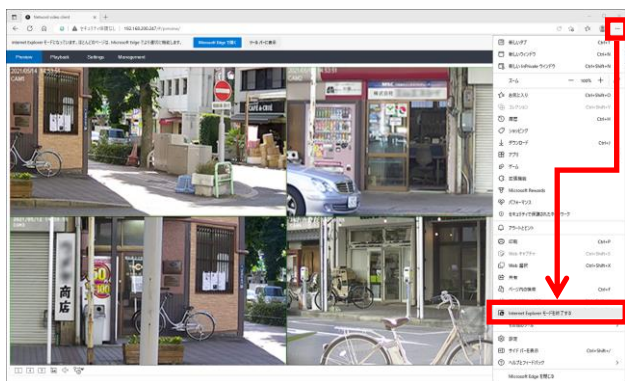
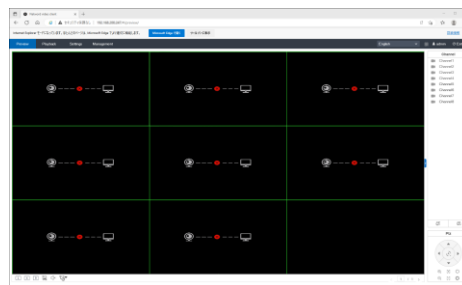


- 再度、録画装置で設定されている「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、[Login]をクリックします。

14. 画面下側に、「この Web ページは、……のアドオン “WebCtrlLite ActiveX Control Module” を実行しようとしています。」と表示された場合、[許可]をクリックします。



15. プレビュー画面が表示されます。画面右側のチャンネル番号をクリックする(灰色から青色)と、カメラ映像が表示されます。

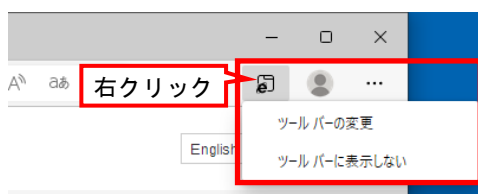


16. Internet Explorer モードを終了する場合、Microsoft Edge 右上の [...] をクリックし、メニューが表示されたら、[Internet Explorer モードを終了する] をクリックします。

### ■ IE モードの画面表示バーについて

Internet Explorer モードで開くと、アドレスバーの下に「Internet Explorer モードになっています。ほとんどのページは、Microsoft Edge でより適切に機能します。」と表示されます。

- [Microsoft Edge で開く] ボタンをクリックすると、Internet Explorer モードを終了し、Microsoft Edge での表示に切り替わります。
- [ツールバーに表示] ボタンをクリックすると、右上のツールバーに [Internet Explorer モード切替] ボタンが表示されるようになります。
  - Internet Explorer モードの終了タブ
  - Internet Explorer モードのリロードタブ
- [×] ボタンをクリックすると、このバーを非表示にします。



Internet Explorer モード切替ボタンを非表示にする場合は、アイコン上で右クリックすることで非表示にできます。

## 7. その他の操作

### 7-1. カメラの登録を削除する

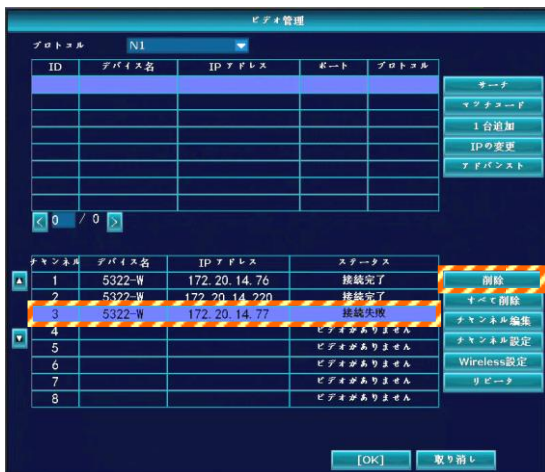
カメラが故障等により他のカメラと交換する場合、録画装置から故障した(使用しない)カメラの登録を削除します。

**ご注意：誤って操作すると、他のカメラ映像が映らなくなりますので注意して操作してください。**

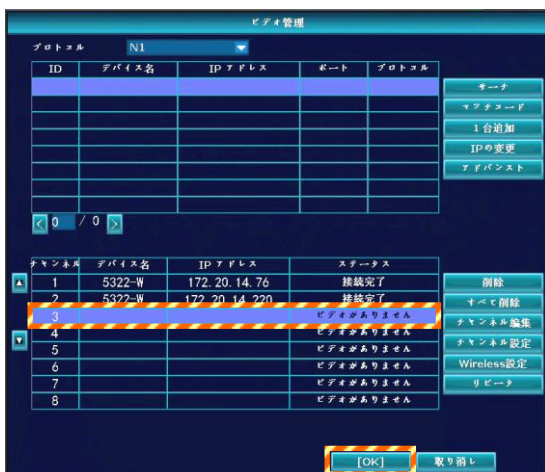


1. マウスを右クリックし、メニューを表示させ、[ビデオの管理]をクリックします。  
操作時、ログイン操作が必要です。  
「ビデオの管理」画面が表示されます。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)



2. 削除するカメラチャンネル選択し、[削除]をクリックします。



3. ステータス欄が「ビデオがありません」と表示されると、カメラの登録が削除されます。  
確認後、[OK]をクリックします。



4. 削除したチャンネルの映像が表示されなくなります。

**【メモ】** 新しいカメラを登録する場合、次ページの「7-2. カメラを追加する場合」を参照して、カメラを追加します。

## 7-2. 録画装置にカメラを登録する

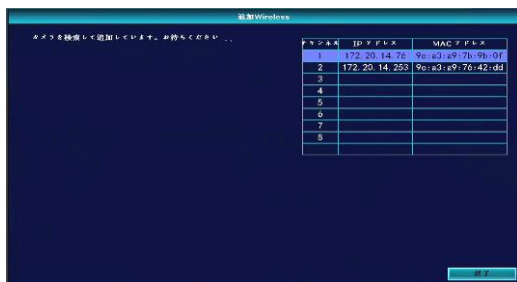
本装置の構成品としてカメラが2台/4台用意されていますが、最大8台のカメラが登録できます。新しいカメラを設置する場合、以下のように1台ずつ録画装置に登録する作業を行います。

ご注意：カメラを5台以上接続すると、映像容量超過のため映像が途切れる場合があります。  
5台以上接続する場合、解像度、ビットレート値、フレームレート値を下げてください。  
設定方法は6-3-3項の項目⑨を参照して、パソコンから設定します。

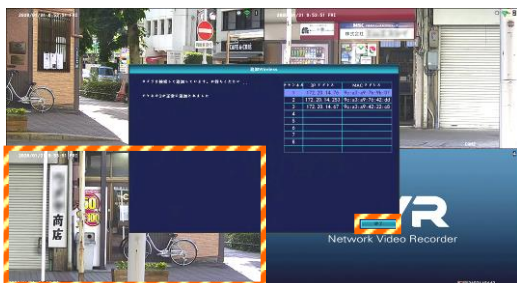


1. 追加のカメラに、電源アダプタを接続し、電源を入れます。まだ、設置をしないでください。
2. カメラのLAN端子と録画装置のLAN端子を、LANケーブルを用意して接続します。
3. 録画装置の電源アダプタを接続して、録画装置の電源を入れます。
4. ライブ映像画面で、マウスを右クリックし、メニューを表示させ、[追加Wireless]をクリックします。  
(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)

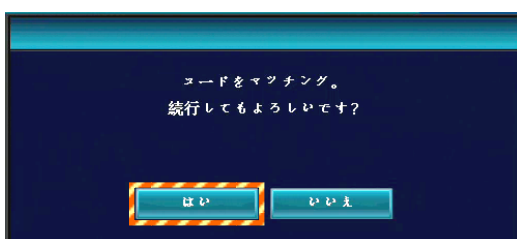
5. 「追加Wireless」画面が表示されます。  
録画装置が追加したカメラを自動で検索し、登録を行います。



6. 1分程度経つと、カメラが登録され、背景に追加されたカメラの映像が表示されます。
7. [終了]をクリックします。



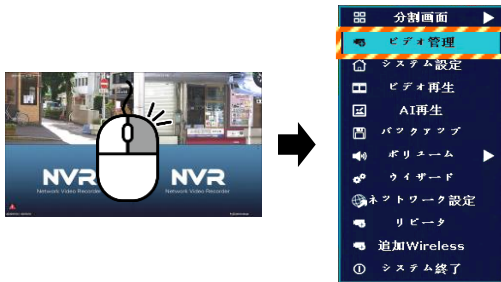
8. 「コードをマッチング。」と表示されます。  
[はい]をクリックします。



9. カメラの電源を切り、LANケーブルを外します。
10. カメラを設置します。設置方法は、「2. 設置方法」または「設置マニュアル」を参照。

### 7-3. カメラ映像を反転させる場合

カメラ設置の都合により、映像が上下逆さまに表示されている場合、反転して表示させる手順です。



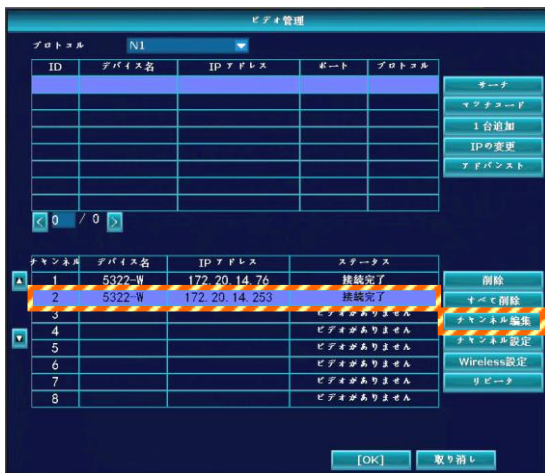
1. 上下逆さまの場合、次の方法で映像を反転させます。

2. マウスを右クリックし、メニューを表示させ、[ビデオの管理]をクリックします。操作時、ログイン操作が必要です。「ビデオの管理」画面が表示されます。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)

3. 反転させたいカメラチャンネル選択し、[チャンネル編集]をクリックします。

「IP チャンネルの param」画面が表示されます。



4. [画像のロールオーバー]をクリックします。背景に表示されている対象画面が回転したことを確認してから、[OK]をクリックします。

5. ビデオ管理画面の[OK]をクリックします。



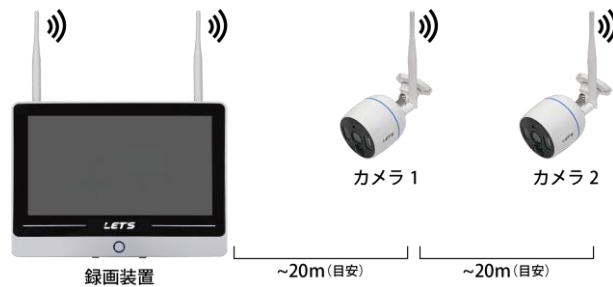
6. カメラの映像が反転します。





## 7-4. カメラをリピーター接続する場合

カメラを設置する際、カメラで電波を中継して使用することにより、離れた距離でも使用できます。下図は設置イメージです。カメラ2は、カメラ1を経由することで録画装置と接続します。



### 【メモ】

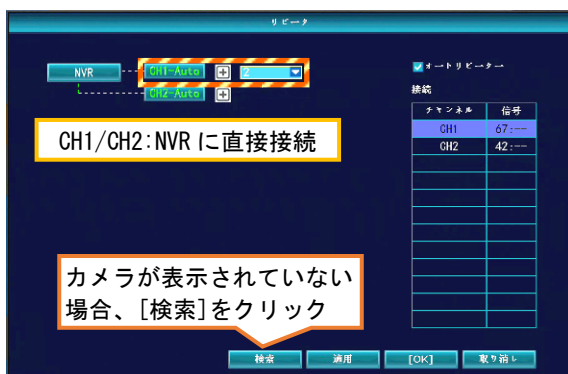
- ・カメラを設置する前に、電波が届く箇所にカメラを仮置きしてから設定してください。
- ・カメラ2をカメラ1経由で接続する場合、カメラ1が電源オフや電波が届かない等で接続できない場合、カメラ2も接続できなくなります。

以下の説明は、カメラ2を、カメラ1を経由して録画装置と接続する方法です。



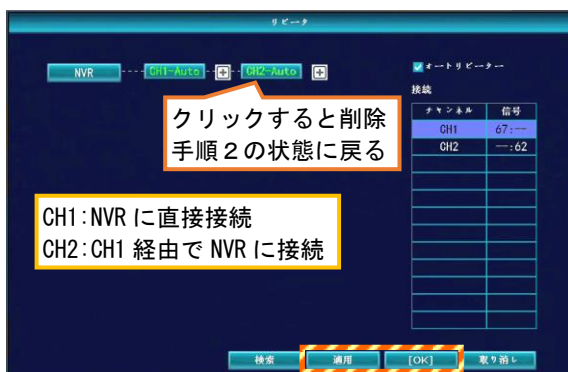
1. マウスを右クリックし、メニューを表示させ、[リピーター]をクリックします。操作時、ログイン操作が必要です。「リピーター」画面が表示されます。

(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)



2. 左図の表示の場合、CH1とCH2の両方から録画装置(NVR)に直接接続されている状態です。出荷時の設定です。

[CH1-Auto]の右側の[+]をクリックして、[2]を選択します。



3. [CH1-Auto]の右側に[CH2-Auto]が接続されます。[適用]または[OK]をクリックして、接続を確定させます。

左図の表示の場合、

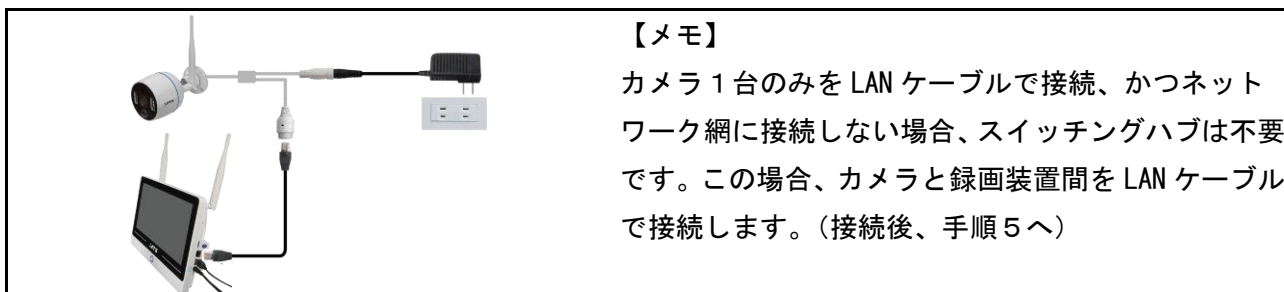
CH1は、録画装置(NVR)に直接接続されています。CH2は、CH1を通じてNVRに接続されています。[OK]をクリックします。

## 7-5. カメラを有線LAN接続で使用する場合

カメラと録画装置間の距離が長いまたは障害物により無線接続でカメラが映らない場合、スイッチングハブを利用して、LANケーブルで有線接続することが可能です。

LANケーブルで接続するためには、次の機材は、お客様側でご用意ください。

- ・カメラ台数分のカメラまで届く長さのLANケーブル
- ・ポート数を満たすスイッチングハブ(カメラ+録画装置+ネットワーク接続分)

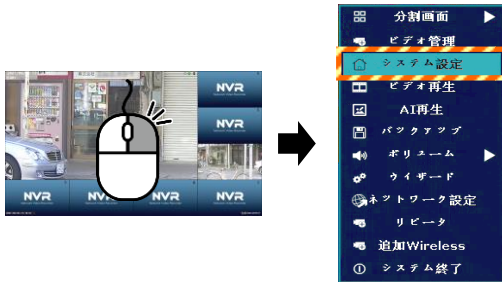


1. スイッチングハブにLANケーブルを接続します。  
左図は一例です。  
詳しくは、スイッチングハブの取扱説明書を参照してください。
2. 手順1で接続したLANケーブルを、録画装置のLAN端子に接続します。
3. カメラ台数分のLANケーブルを、スイッチングハブに接続します。
4. 手順3で接続したLANケーブルを、カメラのLAN端子に接続します。  
その後、カメラ及びスイッチングハブの電源を入れます。
5. 録画装置のライブ映像画面で、マウスを右クリックしてメニューを表示させ、[システム設定]をクリックします。  
(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)



6. [ネットワーク設定]の[ネットワーク]設定を、クリックします。

7. 録画装置に設定されている「IPアドレス」と「サブネット」を確認します。(メモをしてください。) 確認後、[取り消し]をクリックして、ネットワーク設定画面を閉じます。



8. マウスを右クリックしてメニューを表示させ、[ビデオ管理]をクリックします。(ログイン画面表示時、ログイン操作をします。)



9. 下段の欄から、有線接続するカメラチャンネルを選択(青色)してから、[削除]をクリックして、無線の登録を削除します。

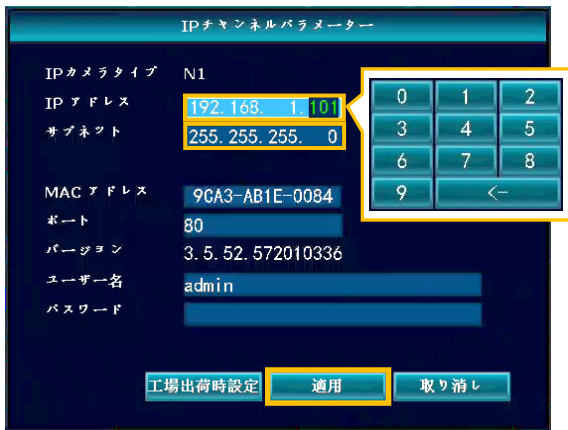
全てのカメラを有線接続する場合は、[すべて削除]をクリックして、無線で登録されているすべてのカメラの登録を削除します。



10. [サーチ]をクリックします。上段のリストに有線接続されたカメラの情報(192.168.1.xxx)が表示されます。



11. 検出されたカメラ1台を選択(青色)し、[IPの変更]をクリックします。



12. 「IPアドレス」を、手順7で確認した録画装置のIPアドレスと同じセグメント※に設定します。  
IPアドレスの下3桁の数値を変更します。

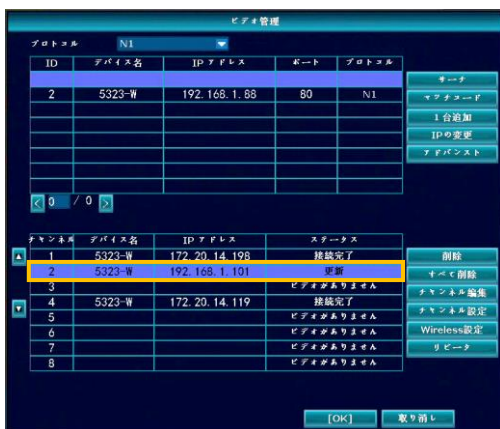
次に、「サブネット」を手順7と同じアドレス番号に設定後、[適用]をクリックします。

有線接続で使用するカメラは、録画装置と同じセグメントに設定しないと映像が映りません。

【メモ】 同じセグメントに設定するとは、例としてIPアドレス「192.168.1.114」の「192.168.1.」にあたるアドレス値が録画装置とカメラが一致する必要があります。  
録画装置のIPアドレスが「192.168.1.114」に設定されている場合、カメラのIPアドレスは、「192.168.1.XXX」（XXXは114を除く、2~254任意の値：「例：192.168.1.101」）に変更します。  
このアドレス値は、他のカメラやネットワーク機器と重複するアドレス値を入力しないでください。



13. IPアドレスを変更したら、[1台追加]をクリックして、カメラを追加登録します。



14. しばらくすると、下段の欄にカメラが登録され、「更新」→「接続完了」と表示されれば、有線接続として、カメラが登録されます。



15. 2台目以降のカメラも、手順11から手順14の操作を繰り返して、カメラを登録します。  
全てのカメラ登録を終えたら、[OK]をクリックして、画面を閉じます。

【ご注意】 LAN有線接続に変更したカメラは、接続を遮断しても自動的に無線接続に切り替わりません。  
無線接続に戻す場合、ビデオ管理画面から登録を削除してから、[追加Wireless]の設定が必要です。

## 8. トラブルシューティング

以下に、問題点が発生した場合の確認ポイントを記載します。

状態によっては、本装置の再起動、電源のオフ/オンなどで改善する場合があります。

症 状	確認ポイント
モニターが写らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>録画装置に録画装置用電源アダプタ (DC12V/3A) が接続されているか</li> <li>録画装置のモニター電源ボタンを押したか</li> </ul>
ライブ映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラにカメラ用電源アダプタ (DC12V/1A) が接続されているか</li> <li>カメラにアンテナが接続されているか</li> <li>カメラと録画装置間が離れすぎていないか</li> <li>カメラと録画装置間に障害物がないか(鉄筋の壁や金属製の扉等)</li> <li>カメラは録画装置に登録されているか [メニュー画面]→[ビデオ管理]の画面で、カメラ登録を確認します。</li> <li>カメラを5台以上接続すると、映像容量超過のため映像が途切れる場合があります。5台以上接続する場合、解像度、ビットレート値、フレームレート値を下げてください。(設定方法は、6-3-3 項の項目㊦を参照)</li> </ul>
スケジュール録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>[メニュー画面]→[システム設定]→[録画設定]の画面で、スケジュール録画が正しく設定されているか (チャンネル、曜日、時間帯(赤色のマス)を確認)</li> </ul>
モーション(動体検知)録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>[メニュー画面]→[システム設定]→[録画設定]の画面で、スケジュール録画が正しく設定されているか (チャンネル、曜日、時間帯(緑色のマス)を確認)</li> <li>[メニュー画面]→[システム設定]→[チャンネル設定]→[ビデオ検出]の画面で、モーションが正しく設定されているか (チャンネル、検出(モーション)、有効に<input checked="" type="checkbox"/>、感度、アラーム期間、エリア編集が適正か確認)</li> </ul>
アラーム音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラー発生時に鳴らす設定の場合、 [メニュー画面]→[一般設定]→[セットアップエラー]の画面で、ブザーに<input checked="" type="checkbox"/>が入っているか</li> <li>モーション検知時に鳴らす設定の場合、 [メニュー]→[システム設定]→[チャンネル設定]→[ビデオ検出]の画面で、ブザーに<input checked="" type="checkbox"/>が入っているか</li> </ul>
パソコンからライブ映像が監視できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラウザは、Internet Explorer/Microsoft Edge(Internet Explorer モード)を使用していますか</li> <li>Internet Explorer の設定で、監視する録画装置の IP アドレスが、「信頼済みサイトへの登録」に登録されているか</li> <li>Microsoft Edge の場合、[Internet Explorer モードを再読み込みする]を設定しているか</li> <li>ネットワークの接続および設定が正しいか [メニュー画面]→[システム設定]→[ネットワーク設定]→[ネットワーク設定]を画面で IP アドレス等を設定します</li> <li>外部のパソコンからライブ映像を見る場合、グローバル IP アドレスが設定されているか</li> <li>ログインユーザー名およびパスワードが正しいか</li> </ul>
時刻がズレている	<ul style="list-style-type: none"> <li>[メニュー画面]→[システム設定]→[基本設定]→[時間設定]の画面で、システム時間を変更し、[適用]をクリックします</li> </ul>
カメラの映像が上下逆さまになっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラのロックナットで緩めてカメラを回転させます</li> <li>ビデオ管理画面でカメラ映像を反転させます(7-3 項を参照)</li> </ul>
映像が表示されている、かつ録画スケジュールを設定しているが、録画できなくなった	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生できるか確認してください。録画が残っていない(再生できない)場合、HDD が正常に認識されていない可能性があります。フォーマットすることで、改善される場合があります。 [メニュー画面]→[システム設定]→[一般設定]→[HDD 設定]画面から対象の HDD に<input checked="" type="checkbox"/>を入れてからフォーマットを実行します。</li> <li>HDD の経年劣化により、録画できなくなった可能性があります。</li> </ul>

## 9. 仕様

本書に記載されている仕様または機能は、技術改善などにより予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

### モニター付レコーダー（録画装置）

LCD画面	12.5インチIPS液晶モニター、解像度：1920×1080
映像入力	4ch、最大8chまで増設可能
オペレーションシステム	組込みLinux OS
ビデオ圧縮方式	H.265（標準）、H.264
映像表示	8ch
映像再生	4ch
映像出力	HDMI×1、1024×768/1280×1024/1366×768/1440×900/1920×1080p
オーディオ出力	3.5mmオーディオ端子×1
IPプロトコル	IEEE 802.11 Wi-Fi、UPnP（プラグアンドプレイ）、SMTP（メールサービス）、PPPoE（ダイヤルアップネットワーク）、DHCP
USB端子	USB2.0×2
記録媒体	SATA×1（2.5/3.5インチHDD：最大6TBまで対応）
ネットワーク端子	RJ45×1（10M/100M自己適応型イーサネット）
録画モード	手動録画、時間録画、動体検知録画、アラーム録画
電源	DC12V/3A電源アダプタ
消費電力	18W以下
動作温度/湿度	-10℃～50℃ / 30%～80%（結露なきこと）
サイズ	約300mm(W)×約228mm(V)×約78mm(H) アンテナ部を除く
重量	約1.2kg（記録媒体を除く）、約1.7kg（3.5インチHDD搭載時）
連続録画時間	約20日間（カメラ4台、1TBのHDD搭載の場合）
無線伝送距離	50m（録画装置とカメラ間に障害物がない場合）

### バレット型カメラ

センサー	1/2.7インチCMOSセンサー
解像度	2304×1296、1920×1080（標準）、1280×720
最低被写体照度	カラー：0.1Lux（F1.2）、白黒（IR点灯時）：0.01Lux（F1.2）
映像圧縮方式	H.265、H.264
オーディオ圧縮方式	G.711、AACコーデック
映像出力	メインストリーム：2304×1296@15fps、サブストリーム：640×360@15fps
デイ&ナイト	自動（デイ：赤外線カットフィルター、ナイト：赤外線オン）
ノイズ低減	2D/3Dノイズリダクションをサポート
ネットワーク	2.4GHz帯Wi-Fi、RJ45（10M/100M自己適応型イーサネット）×1
赤外線照射距離	5～8m
保護等級	IP65相当
電源	DC12V/1A電源アダプタ
消費電力	6.5W以下
動作温度/湿度	-10℃～55℃ / 10%～90%（結露なきこと）
寸法	約150mm×φ約74mm（アンテナを除く）
重量	約300g

### P T Z型カメラ

センサー	1/3.0インチCMOSセンサー
解像度	2304×1296、1920×1080（標準）、1280×720
最低被写体照度	カラー：0.1Lux（F1.2）、白黒（IR点灯時）：0.01Lux（F1.2）
映像圧縮方式	H.265、H.264
オーディオ圧縮方式	G.726 / G.711
デイ&ナイト	自動
ネットワーク	2.4GHz帯Wi-Fi、RJ45（10M/100M自己適応型イーサネット）×1
オーディオ	双方向通話
夜間撮影距離	40～50m
保護等級	IP66相当
ズーム倍率	光学5倍
パン回転/パン速度	330度 / 60度/s
チルト回転/チルト速度	70度 / 20度/s
電源	DC12V/1A電源アダプタ
消費電力	11W以下
動作温度/湿度	-20℃～60℃ / 80%未満（結露なきこと）
寸法	約256mm(W)×約134mm(D)×約168mm(H)（ブラケット付）
重量	約740g

【MEMO】

## お問合せ先

本製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店もしくは弊社までお願いいたします。

### 株式会社 **レッツ** コーポレーション

#### ■カスタマーサービス

受付時間：9：30～18：00（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL：052-209-7860 FAX：052-201-5050

URL：<http://www.lets-co.jp/lets/>

#### ■本社

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL：052-201-6230 FAX：052-201-5050

#### ■東京営業所

〒104-0061

東京都中央区銀座八丁目19-3 銀座竹葉亭ビル6F

TEL：03-3546-0889 FAX：03-3546-0941

#### ■大阪営業所

〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原1-2-9 新大阪ハイロードビル5F

TEL：06-6151-5749